

平成26年度

(平成25年度実績)

教育委員会自己点検・評価
報告書



塩尻市教育委員会

目 次

塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要・・・・・・・・・・ 1

平成25年度 事業部目標

こども教育部・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

生涯学習部・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

市民交流センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

平成25年度 教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

平成26年度 事務事業評価(平成25年度実績)・・・・・・・・・・ 20

こども教育部・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

生涯学習部・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44

市民交流センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64

塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要

(1) 制度導入の経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（平成19年6月）により、すべての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされました。

これにより、塩尻市教育委員会においては平成21年度（平成20年度事業）から制度の導入を行い、自己点検・評価を行っています。

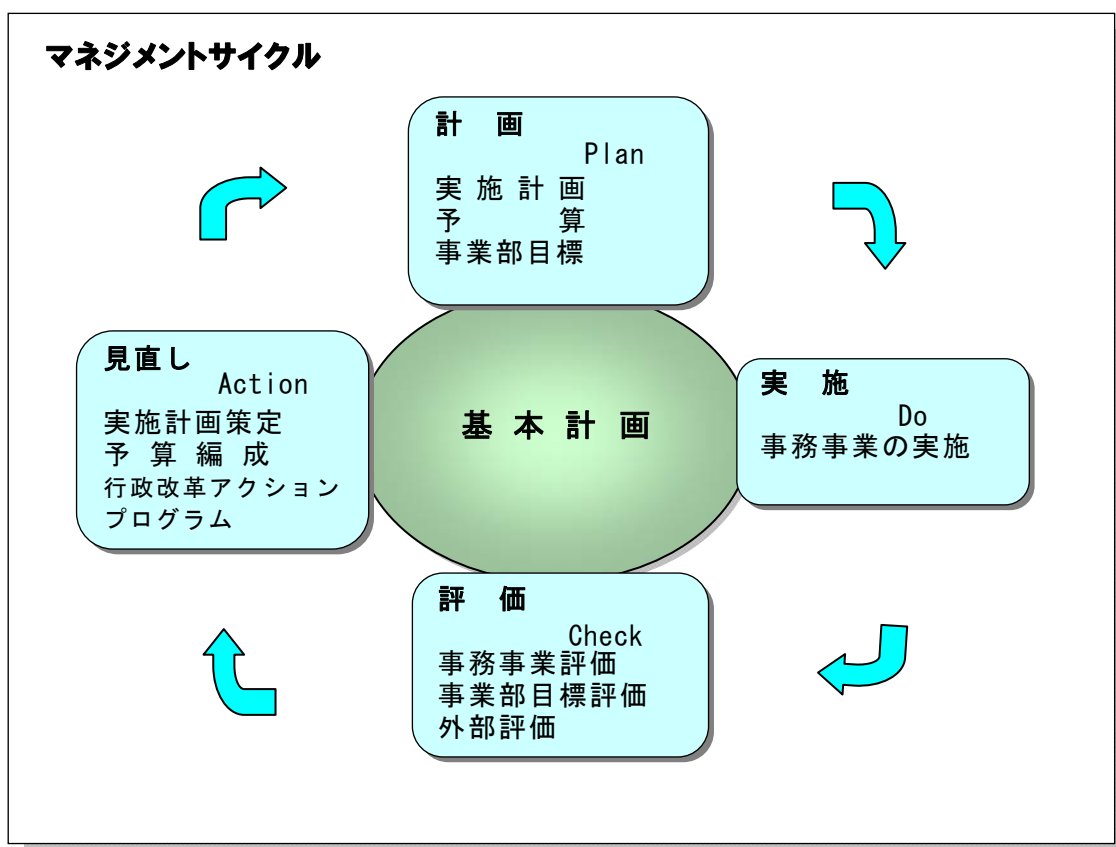
(2) 制度導入の目的

ア 市民により近い存在としての教育委員会

自己点検・評価を広く公表することにより、教育委員会としての説明責任を果たし、市民により近い存在としての教育委員会を目指します。

イ 質の高い効率的な事務の実現

事業部目標に基づき事業を実施することはもちろんのこと、評価や検証をしながら改善を行うことにより、事業の効果を高めるマネジメントサイクル **Plan : 計画 → Do : 実施 → Check : 評価 → Action : 見直し** の確立を図り、限られた財源や人員を有効に活用していきます。



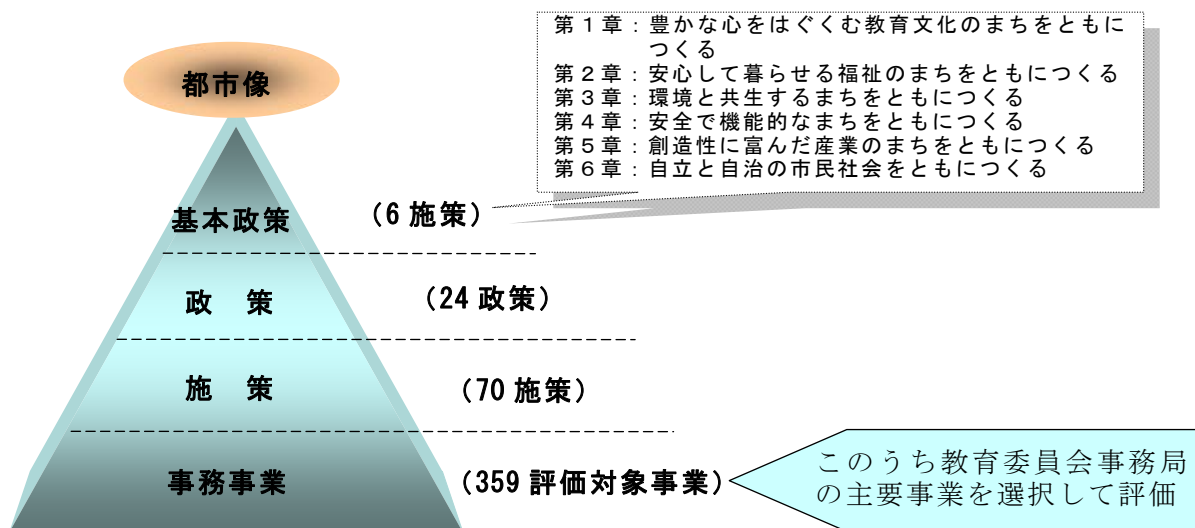
ウ 効果的な事業の運営

事業の妥当性、効率性及び有効性などの視点から評価を行い、より効果的な事業の運営を図ります。

(3) 評価対象事業

塩尻市が実施する事務事業評価を基本として活用し、評価対象 359 事業のうち、教育委員会（こども教育部、生涯学習部、市民交流センター）が所管する評価対象 104 事業等について、教育委員が主要事業を選択し、自己点検・評価を行います。

【後期基本計画の施策体系】



(4) 評価のプロセス

塩尻市が実施した事業評価のうち教育委員会関係分を用い、施策を所管する担当課が、目標指標の達成度、事務事業の進捗状況や事業実施の成果等を総合的に判断して内部評価を行いました。これを基に、塩尻市専門委員が評価を特記事項として示し、教育委員会が全体的に確認のうえ評価し、意見を付しました。

以上の手順で評価を行ったため、担当課による内部評価と専門委員および教育委員会の意見は、必ずしも一致しません。

ミッション 1

子どもと保護者のために、幼稚園・保育園、小学校、中学校の成長段階に応じて継続した就学支援を行うとともに、総合的な学力の向上と個に応じた指導を進めるため、きめ細やかな学習支援を行います。

(教育総務課・家庭支援室)

No.	重点事業名	事業概要・目的・効果・スケジュール等	数値目標
1	「笑顔で登校」推進事業 (実計23-27) (事業費：9,536千円)	学校支援コーディネーター（指導主事）を中核に、新たに、スクールカウンセリング機能を併せ持った学校スーパーバイザー（養護講師）を拠点校に配置するなど、不登校児童生徒に対して個々の状況に応じたきめ細かなフォローや未然防止策を、関係機関が連携し合いながら包括的に推進し、不登校の予防・改善を図る。 ・学校スーパーバイザーの新規配置 ・子と親の心の相談員の配置 ・楽しい学校生活を送るための心理テスト「ハイパーQ-U」の実施（中学校1学年、小学校高学年） ・塩嶺体験学習の家での体験学習実施	・新たな不登校を生み出さない ・出席日数の増加による状態改善 ・「ハイパーQ-U」受検者 100%
2	図書館システムの運用 (事業費：5,008千円)	学校図書館図書の貸出返却や蔵書管理を効率的に行うとともに、市立図書館の「子どもの読書力パワーアップ事業」と連携し、児童生徒の読書活動や調べ学習を推進する。	・管理業務の効率化により、レファレンスや授業支援等、児童生徒の読書活動の充実を図る。
3	学校給食レシピ公開事業 (実計25-27) (事業費：4,520千円)	専門のホームページで、各校の給食レシピを継続して公開する。蓄積されるレシピを、メニュー別、学校別、人気や季節別等のカテゴリーで分類し、保護者投稿機能も付加するなど、給食を核に双方向型の情報の発信、共有化を図るとともに、レシピを活用したイベント等を通じ、食育や地産地消を推進する。 ・給食レシピ公開サイトの構築	・25年度はシステム開発 ・26年度当初の公開時点で収録レシピ目標 100件
4	学校給食公会計の運用 (事業費：444,559千円)	保護者の利便性の確保、学校やPTAの負担軽減、給食費収納率の向上を図るため、学校給食を集中管理する公会計を運用する。また、地産地消の推進を図りながら、地域食材を生かした学校給食レストランを開催し、食育を推進するなど、自校方式による安心でおいしい給食を提供する。 ・給食費と給食食材費の一括管理による効率化の推進 ・学校給食レストラン開業	・学校給食レストラン食育イベント等に合せて開催(3回) ・地域食材の日 全校で年6回を開催
5	家庭教育の支援 (事業費：21,427千円)	子どもたちの基本的な生活習慣の定着を目指し「早ね、早おき、朝ごはん、どくしょ」を市民運動として講演会を開催する。また、子どもたちを暴力から守るため、子ども、大人、教職員を対象にCAP研修会を開催する。	講演会・研修会参加者の満足度：80%以上
6	元気っ子応援事業 (実計25) (事業費：11,131千円)	乳幼児健診等を踏まえ、すべての子どもたち一人ひとりの状況を把握した上で、個性や特性を大切にしながら健やかに成長できるように、幼保小中と途切れない支援を行う。	中学校と連携して具体的なフォローアップマニュアルを作成する。
7	まなびサポート事業 (実計22-27) (事業費：66,764千円)	特別支援が必要な児童生徒に、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な学習環境を提供するため、市内全小中学校配置に向け、計画的に特別支援講師及び支援介助員を増員する。	・特別支援講師 14人 ・支援介助員 13人

ミッション 2

子ども、保護者、教職員及び地域住民のために、安心して子どもを生み、健やかに子どもが育つ安全で安心な環境を、ソフト・ハード両面から整備します。

(教育総務課・家庭支援室)

No.	重点事業名	事業概要・目的・効果・スケジュール等	数値目標
1	学校通学路安全対策事業 (事業費：9,796千円)	通学路の安全点検を継続的に実施し、校内及び隣接箇所へカーブミラーや交通安全看板を設置する。また、道路横断旗とボックスの年次的な更新、新設を行うなど、児童生徒の登下校の安全を確保する。 ・蛍光テトロン製横断旗・プリズム反射横断旗ボックス ・カーブミラー、看板設	・危険箇所点検実施 ・危険箇所への対応 ・プリズム反射横断旗ボックス設置：3か所
2	保育施設の耐震化推進事業 (事業費：17,149千円)	避難所に指定されている保育施設において、災害発生時の人的被害を防止するため、窓ガラス落下防止等の耐震化を行う。 ・保育園14園 ・児童館3館	・保育園遊戯室14園 ・児童館 3館
3	学校施設非構造部材の耐震化推進事業 (実25-33) (事業費：90,386千円)	避難所に指定されている学校体育館等において、災害発生時の人的被害を防止するため、照明器具、窓ガラス、バスケットゴール等非構造部材の耐震化を行う。 ・小学校9校、中学校5校の体育館 ・塩尻西小学校エレベーター耐震化	・小学校9校 ・中学校5校 ・エレベーター 1基
4	塩尻東小学校大規模改修事業 (実計25-26) (事業費：7,103千円)	老朽化した校舎及び体育館等を年次計画的にリニューアルし、教育環境の改善を図る。 ・大規模改修のための実施設計	・小学校 1校

ミッション 3

子どもと保護者のために、次世代を担う子どもたちを育成する「教育振興基本計画」や「子ども・子育て支援事業計画」に家庭や地域の意見を反映させるとともに、積極的に情報発信をし、市民に信頼される開かれた教育行政を推進します。

(教育総務課・こども課)

No.	重点事業名	事業概要・目的・効果・スケジュール等	数値目標
1	「教育振興基本計画の策定」 (実計25-26) (事業費：8,505千円)	本市の特色ある教育振興のための施策を、重点的・効果的に推進するため、塩尻市教育振興基本計画を策定する。 ・教育振興審議会の設立 ・教育振興基本計画策定に向けた調査等	・策定調査保護者アンケート 実施対象者 5,700人 回収率 75%
2	「子ども・子育て支援事業計画」の策定(実計25-26) (事業費：5,536千円)	「子ども・子育て支援法」に基づき、管内における新制度の給付・事業の需要見込み量、供給体制の確保の内容及びその実施時期等を盛り込んだ「塩尻市子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、ニーズの把握を目的としたアンケートを実施する。	・ニーズ調査 対象者 5,500人 回収率 75%
3	教育委員会議録等の公開 (事業費：5,821千円)	・教育委員会サブサイトにより会議開催予定および議題等の事前周知、会議録の公開を行う。	・会議予定及び会議録等のホームページでの迅速な公表

平成25年度 事業部目標（生涯学習部）

部長

岩垂 俊彦

ミッション 1

市民のために、安心して安全な生涯学習の場の提供、市民が自主的な学習活動ができる環境を目指し、学習施設の整備改善、公民館活動の活性化支援をします。

(社会教育課)

No.	重点事業名	事業概要・目的・効果・スケジュール等	数値目標
1	総合文化センター改修事業 (実計 25-30) (事業費 27,403 千円)	築32年を経過した総合文化センターをより長く健全に使用するため、屋根の防水改修工事を行う。 ・改修箇所：東側・西側・正面玄関上 ・施行期間 6月～8月	屋根全体の70% 1,200㎡の実施
2	公民館事業 (事業費 49,194 千円)	市民の学習要望に応え、誰もが生きがいをもって豊かな生活ができるように、生涯学習や地域交流ができる機会の提供を図る。 ・教養を深めるための学習と地域づくりのための各種学級講座の運営	各学級種講座参加者延数：14,500人

ミッション 2

市民のために、芸術や文化の拠点施設の充実、地域文化、芸術文化の振興を目指し、地域文化の情報発信、芸術文化の学習や発表の場の提供をします。

(社会教育課)

No.	重点事業名	事業概要・目的・効果・スケジュール等	数値目標
1	全国短歌フォーラム事業 (事業費 29,780 千円)	「第27回全国短歌フォーラムin塩尻」を開催し、「短歌のまち塩尻」を全国に発信する。 ・一般の部 9月28日～9月29日開催 ・学生の部 11月30日開催	一般の部投稿数：3,500首 学生の部投稿者数：15,000首
2	地域文化啓発発信事業 (事業費 510 千円)	塩尻市ゆかりの偉人や文化をブックレットとして発行し教育の場等で活用する。 ・平成25年度「広丘歌人物語（仮称）」の原稿執筆	執筆者の選定 印刷原稿の作成
3	芸術文化事業 (事業費 13,921 千円)	芸術文化活動者の発表の場として事業を実施することにより、活動者の底辺拡大とともに、芸術文化の振興を図る。	年間の参加者数：24,000人

ミッション 3

市民のために、歴史的遺産を後世に守り伝えるとともに、地域づくりの資産として地域の活性化を目指し、市内の文化財の保護と重要文化財・重伝建地区等の保存・活用を推進します。

(社会教育課)

No.	重点事業名	事業概要・目的・効果・スケジュール等	数値目標
1	重伝建整備事業 (実計 17-34) (事業費 27,281 千円)	重要伝統的建造物群保存地区奈良井及び木曾平沢地区の建造物を、文化財整備の手法により修理・修景事業を実施し、歴史的景観整備を行うことにより観光資源も含め地域の資産化を推進する。	・奈良井地区 修理 1件 ・木曾平沢地区 修理 3件 修景 1件
2	重伝建防災施設整備事業 (実計 24-27) (事業費 39,780 千円)	重要伝統的建造物群保存地区木曾平沢の木造建築物集積地域の消火施設の整備（消火栓・貯水槽等の整備）を実施することにより、住民の安全を確保するとともに文化資産の保全を図る。 ・設置工事 25～27年度	・設置工事の進捗度： 35%
3	伝統的建造物保存調査事業 (事業費 6,008 千円)	本市を代表する歴史的建造物である本棟造りの集落である平出地区を中核とし、市内類例の民家学術調査を実施することにより、文化資産としての価値付けが図られるとともに、平出遺跡との相乗効果を上げることを期する。 ・調査 24・25年度 ・報告書刊行 25年度	・年度内で調査・報告書刊行完了
4	国指定文化財修理事業 (実計 21～31) (事業費 61,208 千円)	塩尻市の6件の国指定重要文化財民家は、一自治体の中に所在する重要文化財民家数として、全国においても五指にはいるものであり、塩尻ブランドといい得るものである。その貴重な文化資産を計画的に維持することが市としての使命であるとともに、情報発信アイテムとしての資産化を図る。 ・小野家住宅 21～25年度 ・堀内家住宅 27～31年度 ・小松家住宅 33・34年度	・小野家住宅修理事業は期間内で完了

平成25年度 事業部目標（生涯学習部）

部長

岩垂 俊彦

ミッション 4

市民のために、スポーツに親しみ健康体力づくりを推進することができる環境を目指し、「市民みな1スポーツ」の普及・推進と体育施設利用の利便性の向上を図ります。

(スポーツ振興課)

No.	重点事業名	事業概要・目的・効果・スケジュール等	数値目標
1	中央スポーツ公園改修事業 (実計 25-29) (事業費 153,268 千円)	昭和61年の開設以来、老朽化が進む中央スポーツ公園の計画的な改修を進め、スポーツ拠点としての施設の充実を図る。 ・サッカー場人工芝化工事（6月～11月） ・駐車場出入口改修工事（6月）	期限内での工事完了
2	(体育施設整備事業) 新体育館の方向性の検討 (実計 19-31) (事業費 1,903 千円)	平成24年度に作成した基本構想に基づき、今後の方向性について検討を進める。 ・第5次総合計画の作成過程での方向付け ・市議会との協議や市民の皆様への情報開示	平成26年度までに方向付けするための検討の進捗度：50%以上
3	(市民スポーツ振興事業) 第5回塩尻ぶどうの郷ロードレース (事業費 7,564 千円)	スポーツの楽しさを知り、健康体力づくりのきっかけとなるランニングイベントを開催し、併せて塩尻特産のぶどうや漆器などの魅力を市内外にPRできる大会とする。 ・開催日 9月29日（日） ・コース 2km、3km、5km、10kmの4コース	参加者数：2,000人

ミッション 5

市民のために、一人ひとりの個性と能力を尊重し、お互いの人権を認め合う思いやりにあふれた社会の実現を目指し、市民、地域団体、企業などと協働して、人権意識の向上と男女共同参画の推進を図ります。

(男女共同参画・人権課)

No.	重点事業名	事業概要・目的・効果・スケジュール等	数値目標
1	社会人権教育推進事業 (事業費 12,446 千円)	人権意識の向上を図るため学習会等を開催する。 ・地区人権教育推進会議、分館人権学習会の開催 5月～3月 ・企業人権教育研修会の開催 6月 ・豊かな心を育む市民の集いの開催 12月1日（日） ・人権同和教育集会所の運営・維持管理	学習会等への参加者数：1,960人
2	やさしく女と男推進事業 (事業費 9,068 千円)	市民との協働による21世紀セミナー及び講座や地域での学習会等を開催する。 ・21世紀セミナー シンポジウム 11月 井戸端会議 11月（2回） ・男女共同参画推進交流会 6月 ・地区男女共同参画推進会議 10月 ・男女共同参画推進企業セミナー 1月 ・やさしく女と男推進講座 2月 ・女性相談の実施	学習会等への参加者数：800人

ミッション 6

市民のために、平出遺跡等の埋蔵文化財を保護し、その魅力を市内外に広く伝えることを目指し、平出遺跡公園や平出博物館の活用に取り組みます。

(平出博物館)

No.	重点事業名	事業概要・目的・効果・スケジュール等	数値目標
1	平出博物館運営事業 (事業費 3,088 千円)	多様な事業を実施し、博物館の魅力を発信する。 ・企画展「田川流域の原始・古代」9～10月 ・ジュニア考古学教室 7～10月 ・土曜サロン「古代人の祈り」5～9月	入館者数：6,500人
2	平出遺跡公園事業 (事業費 4,215 千円)	多彩な事業を実施し、遺跡公園の利活用を促進する。 ・ひらいで遺跡まつり 9/8 ・アドベンチャー in ひらいで 7/28～8/18 ・アイソン彗星観察 11月	来場者数：20,000人
3	埋蔵文化財保護事業 (事業費 9,980 千円)	開発事業に伴い遺跡を発掘調査し、記録保存を図る。 ・F Pプロジェクト用地内の遺跡発掘調査 ・開発地での事前確認調査、発掘調査 4月～3月	期限内での発掘調査
4	平出遺跡発掘整理事業 (実計 23-28) (事業費 7,287 千円)	平出遺跡発掘調査報告書「縄文編」を編集する。 ・出土石器の実測委託 5月～3月 ・検出遺構の整理 (「縄文編」刊行 26年度)	検出遺構部分の編集

ミッション 1

市民及び市民公益活動団体等のために、市民交流センターを活用した交流と人づくりの場の提供と協働のまちづくりを目指して、市民及び市民公益活動団体等の自主的で多様な活動を支援するとともに、機能融合を推進するための事業を展開します。

(交流支援課)

No.	重点事業名	事業概要・目的・効果・スケジュール等	数値目標
1	交流センター管理事業 (実計 25-29) (事業費 110,490千円)	交流センターのもつ利便性や機能を維持していくため、施設及び備品等の適正な維持管理を行い、来館者の安全を重視する。 ・施設管理業務委託（清掃・警備・空調機器保守点検）	・貸館稼働率： 70%以上
2	交流センター交流企画事業 (実計 27-29) (事業費 38,479千円)	交流センターの運営管理方針に基づいた事業展開を図りながら、機能融合を目指した講座やワークショップ等の幅広い事業を展開する。 ・開館3周年記念事業・読書による人づくり事業・その他交流支援事業	・来館者数：年間 600,000人
3	協働のまちづくり推進事業 (実計 25-27) (事業費 6,665千円)	市民の主体的な活動を支援するため、「まちづくりチャレンジ事業」制度による助成金を交付し、協働コーディネーターを中心に活動を支援する。 交流センターのサポート団体「えんぱーくらぶ」の自立した活動支援を目指し、負担金を交付する。	・助成金交付団体： 15団体 ・くらぶ企画事業数： 年間12回以上開催

ミッション 2

子育て中の家庭のために、子育て不安の軽減や、子どもの健全な育ちと地域の子育て力の育成を目指し、交流や研修、出前支援等による幅広い支援を行います。

(子育て支援センター)

No.	重点事業名	事業概要・目的・効果・スケジュール等	数値目標
1	子育て支援センター事業 (事業費 10,296千円)	交流や学びの機会を主とした事業により、子育て支援の拡大を図る。(未就園児童家庭対象) ・研修会、子育て講演会・講座等の充実 ・出前支援、父親向け子育て冊子の配布・施設整備等	研修会・講座等： 年200回 年間利用者数： 25,000人 (プレイルーム)
2	こども広場事業 (事業費 40,121千円)	遊具の整備・交流会・木育事業の推進等により、こども広場の安定利用を図る。(未就学児童家庭対象)	イベント・交流会： 年25回 年間利用者数： 55,000人

ミッション 3

市民のために、様々なニーズに応えられる多機能型の図書館を目指して、読書による人づくりを支援するとともに、生活や仕事の課題解決に役立つ情報を収集し提供します。

(図書館)

No.	重点事業名	事業概要・目的・効果・スケジュール等	数値目標
1	図書館サービス基盤整備事業 (事業費 60,568千円)	図書館資料の充実により、課題解決型図書館の実現と生涯読書の推進を図る。 ・図書、雑誌、視聴覚資料等の購入 25年4月～26年3月	レファレンス： 年1,000件
2	本の寺子屋推進事業 (事業費 11,865千円)	「信州しおじり 本の寺子屋」を事業の柱に据え、生涯読書の推進を通じた塩尻発の文化発信を図る。 ・講演会、講座、企画展等の開催 25年5月～26年3月	講演会、講座等： 年12回開催

平成25年度 塩尻市教育委員会会議等記録

1. 教育委員の任免

氏名	任期	
小澤 嘉和	委員長	平成23年6月26日～平成27年6月25日
渡辺 庸子	同職務代理者	平成23年6月26日～平成27年6月25日
田中 佳子	委員	平成21年7月1日～平成25年6月30日
石井 實	委員	平成22年6月22日～平成26年6月21日
小島 佳子	委員	平成25年7月1日～平成29年6月30日
山田 富康	教育長	平成24年6月27日～平成28年6月26日

2. 定例・臨時教育委員会

期日	会議	案 件	
4月25日	4月定例	報告案件	平成25年度教育委員会事業部目標について 平成24年度中学校卒業生進路状況について〈非公開〉 要保護及び準要保護児童生徒の認定について〈非公開〉
		議事案件	平成25年度塩尻市奨学生の選考について〈非公開〉
5月17日	臨時	議事案件	情報の非公開決定に係る審査請求の処分の決定について〈非公開〉
5月23日	5月定例	その他案件	教育委員会関係規則等改正（案）について 平成25年度教育委員会関係補正予算（案）について
6月26日	臨時	議事案件	教育委員長の選挙について 小澤嘉和教育委員長（任期 H25.6.26～H26.6.25） 教育委員長職務代理者の指定について 渡辺庸子教育委員長職務代理者（任期 H25.6.26～H26.6.25）
6月26日	6月定例	報告案件	市議会6月定例会報告について 贄川関所・木曾考古館の今後の利活用について
		議事案件	塩尻市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則の一部を改正する規則
7月25日	7月定例	報告案件	平成25年度（平成24年度実績）事務事業評価について
8月22日	8月定例	議事案件	塩尻市教育振興審議会委員の委嘱について 塩尻市教育振興審議会への諮問について
		その他案件	教育委員会規則等改正（案）について 教育委員会関係例規改正（案）について 平成25年度教育委員会関係補正予算（案）について
9月26日	9月定例	報告案件	市議会9月定例会報告について 10月1日付人事異動について
		議事案件	塩尻市人権教育推進委員会規則の一部を改正する規則 平成25年度全国学力・学習状況調査結果の公表について〈非公開〉
10月24日	10月定例	議事案件	教育委員会の自己点検・評価について

11月21日	11月定例	議事案件	塩尻市文化財の指定解除の決定について
		その他案件	教育委員会規則等制定・改正（案）について 教育委員会関係例規制定・改正（案）について 平成25年度教育委員会関係補正予算（案）について 実施計画要求事業及び平成26年度教育委員会関係予算要求主要事業について（非公開）
12月19日	12月定例	報告案件	市議会12月定例会報告について
		議事案件	塩尻市檜川地区文化施設条例施行規則の一部を改正する規則 塩尻市吉田西防災コミュニティーセンター条例施行規則 塩尻市体育施設管理規則の一部を改正する規則
		その他案件	平成26年度教育委員会関係予算（案）重点施策について（非公開）
1月23日	1月定例	報告案件	平成26～28年度実施計画について
2月20日	2月定例	報告案件	大雪に係る被害等及び対応状況について
		その他案件	教育委員会規則等の改正（案）について 教育委員会関係例規改正（案）について 平成25年度教育委員会関係補正予算（案）について 平成26年度教育委員会関係予算（案）について 平成26年度教育委員会関係行事予定（案）について
3月27日	3月定例	報告案件	市議会3月定例会報告について 4月1日付人事異動内示について 校長・教頭の人事異動について 長野県公立高等学校入学者選抜の結果について（非公開）
		議事案件	塩尻市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 塩尻市学校給食費徴収規則の一部を改正する規則 塩尻市立中学校の運動部活動の取り組み方針について

3. 協議会

期日	協議事項
4月25日	体罰に係る実態把握調査について 平成25年度こんにちは教育委員会について 臨時教育委員会開催の調整について 明るい選挙推進協議会委員の選任について 市長講話・市長懇談
5月23日	教育振興審議会について 明るい選挙推進協議会委員の選任について
6月26日	塩尻市第五次総合計画策定及び審議会委員の選出について 教育振興審議会委員の選任状況について 教育委員の退任・任命に係るスケジュール こんにちは教育委員会（塩尻西小学校）の開催について
7月25日	松本山雅FCホームゲーム「塩尻市デー」観戦のご案内 こんにちは教育委員会（塩尻西小学校）のまとめについて 平成25年度教育委員視察研修について 全国短歌フォーラム投稿状況について
8月22日	第1回教育振興審議会の開催について 教育委員会自己点検・評価について 第57回長野県市町村教育委員会連絡協議会研修総会分散会について 中学校塩筑教育課程研究協議会について
9月26日	教育意識調査について 教育委員会自己点検・評価について 小学校塩筑教育課程研究協議会について
10月24日	保護者アンケートの実施について 研修総会分散会のまとめについて 教育委員視察研修について 生徒指導案件について
11月21日	こんにちは教育委員会のまとめについて 教育委員視察研修について
12月19日	こんにちは教育委員会（塩尻東小）のまとめについて 平成26年度教育委員会会議日程案について
1月23日	図書館に係る計画策定について 保護者アンケート結果速報について 「中学校期の適切なスポーツ活動のあり方報告書」教職員研修会の結果について 平成26年度教育委員会会議日程案(変更)について
2月20日	第2回塩尻市教育振興審議会開催概要について 小・中学校の卒業式・入学式について 年度末・年度始めの諸行事について

3月27日	平成25年度の教育委員会活動の総括と新年度の課題について 年度末・年度始めの諸行事について 教育相談員等配置案について
-------	---

4. こんにちは教育委員会

7月22日 塩尻西小学校 授業参観、グループ懇談
11月27日 塩尻東小学校 授業参観、グループ懇談

5. 教育委員研修

11月26日 飯田市教育委員会 小中一貫教育、キャリア教育の推進

6. 主幹指導主事学校訪問

5月15日 桔梗小	7月 2日 片丘小学校
5月16日 (両小野中学校)	7月 3日 宗賀小学校
6月 5日 塩尻中学校	7月 4日 洗馬小学校
6月 7日 広丘小学校	7月 9日 塩尻西小学校
6月24日 木曾檜川小学校	7月18日 塩尻東小学校
檜川中学校	10月21日 塩尻西部中学校
6月25日 丘中学校	10月22日 吉田小学校
6月28日 広陵中学校	

7. 「広報しおじり」特集等記事掲載

掲載号	ページ数	担当課	記事名
4月1日号	0.5	社会教育課	皆さんの芸術文化活動を応援します (イチオシ! 市政ニュース)
4月1日号	0.3	交流支援課	さくらフェスタ2013 (イベント案内)
4月15日号	0.3	こども課	ともだちいっぱいあそびの広場 (イベント案内)
5月1日号	1	子育て支援センター	ファミリーサポート事業
5月1日号	1	図書館	図書館における本の相互貸借について (ボイス&トーク)
6月15日号	1	社会教育課	塩尻市民音楽祭
6月15日号	0.3	平出博物館	ひらいでミュージアムコンサート (イベント案内)
8月1日号	0.5	交流支援課	まちづくりチャレンジ事業を募集します (イチオシ! 市政ニュース)
9月1日号	0.3	総務課	木育フェスティバルインしおじり (イベント案内)
9月15日号	1	社会教育課	全国短歌フォーラムin塩尻
10月1日号	4	こども課	塩尻市の保育園・幼稚園
10月1日号	1	交流支援課	市民交流センターの利用について (ボイス&トーク)
10月1日号	0.3	交流支援課	えんぱーく来館者200万人達成記念イベント (イベント案内)
10月15日号	2	社会教育課	塩尻市民文化祭
10月15日号	0.3	図書館	えんぱーく読書週間スペシャルデー (イベント案内)
11月1日号	0.5	家庭支援室	11月は児童虐待防止推進月間です (イチオシ! 市政ニュース)
11月1日号	1	子育て支援センター	子育て支援センターについて (ボイス&トーク)

11月15日号	2	男女共同参画・人権課	かけがえのない人権を大切に
1月15日号	0.3	こども課	放課後児童クラブの登録説明会を開催します
2月1日号	2	社会教育課	全国短歌フォーラムin塩尻学生の部
2月1日号	2	社会教育課	塩尻市成人式（フォトニュース）
2月1日号	0.3	交流支援課	野菜花き試験場を知ろう（イベント案内）
2月15日号	2	交流支援課	まちづくりの担い手を応援します
2月15日号	1	教育総務課	平成25年度全国学力・学習状況調査結果
2月15日号	0.3	子育て支援センター	ベビーマッサージ&学生と赤ちゃんの触れ合い体験（イベント案内）
	毎月1日号	市民交流センター	えんぱーくカレンダー
	毎月1日号	レザンホール	レザンホールへ行こう

8. 教育委員会関係の主な行事

期日	担当課	行事名
4月 7日	図書館	春のスペシャルおはなし会
4月13日	スポーツ振興課	ウォーキング教室
4月13日	交流支援課	知っておきたい「放射線」講座 ～放射線のホント？を知ろう！～
4月20日	交流支援課	2013さくらフェスタ
4月23日	男女共同参画・人権課	「人権の花運動」花の種贈呈式
4月25日	社会教育課	安曇野ちひろ美術館「ちひろの軌跡」鑑賞ツアー
4月27日	社会教育課	芸術文化研修事業 第1回「リズムは楽しいビート道場」
4月27日 ～5月16日	平出博物館	企画展「ドラえもんグッズ大集合」
4月27日 ～6月30日	社会教育課 (塩尻短歌館)	春の企画展「若山牧水～歌と酒と旅の生涯～」
4月27日	子育て支援センター	食育講座（畑づくり）
5月 3日	交流支援課	しおじりをボトルに詰めよう！
5月11日	中央公民館	絵画教室
5月11日	中央公民館	地球の宝石箱見学と
5月14日	社会教育課	学びの道小さな旅
5月14日	子育て支援センター	環境講座（森で遊ぼう）
5月18日	交流支援課	読み聞かせ交流会（第1回）
5月18日	交流支援課	えんぱーくらぶサロン
5月19日	スポーツ振興課	第38回塩尻市小学生・中学生陸上競技記録会
5月19日	交流支援課	学生交流ワークショップ「はじめまして！自己紹介ワークショップ」
5月24日	子育て支援センター	マタニティーママ 子育て準備講座
5月25日	交流支援課	えんぱーくらぶ花育て
5月25日	交流支援課	まちづくりチャレンジ事業公開選考会
5月26日	図書館	本の寺子屋
5月30日	スポーツ振興課	ヘルシー・フィジカル教室開講式
5月31日 ～6月 1日	社会教育課	塩尻市民芸術祭・展示発表の部
5月31日	子育て支援センター	親子ふれあい講座（ガーデニング）
6月 1日	社会教育課	塩尻市民芸術祭・舞台発表の部
6月 1日	中央公民館	第18回塩尻市公民館研究集会
6月 5日	子育て支援センター	はらっぱの風コンサート
6月 7日	子育て支援センター	親子体操
6月 8日	社会教育課	芸術文化研修事業 第2回「リズムは楽しいビート道場」
6月 8日	交流支援課	読み聞かせ交流会（第2回）
6月 9日	教育総務課	こども未来塾 小学生リーダー研修
6月 9日	交流支援課	あな吉さん「ゆるベジ」課外授業inしおじり講演会
6月 9日	子育て支援センター	おさがり会
6月12日	家庭支援室	元気っ子応援講演会
6月13日	社会教育課	朴葉餅作り講座（食文化体験講座）
6月15日	(檜川公民館との共催)	
6月14日	社会教育課	しおじり温故知新の旅①一茶、芭蕉の句碑を巡る
6月16日	教育総務課	信州しおじり体験学習フェスティバル
6月16日	スポーツ振興課	第23回スポレクバイアスロン大会
6月16日	自然博物館	夏の自然観察会「外来植物の自然観察会」
6月17日	図書館	本の寺子屋
6月21日	子育て支援センター	食育講座
6月22日	男女共同参画・人権課	塩尻市男女共同参画推進交流会
6月23日	社会教育課 (塩尻短歌館)	塩尻短歌大学第92講
6月28日	子育て支援センター	マタニティーママの思い出会
6月29日	家庭支援室	「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」市民の集い おはなしファミリー劇場
6月29日	交流支援課	佐渡島庸平講演会&対談
7月 1日	子育て支援センター	にこにこだっこ
7月 7日	社会教育課	第9回市民音楽祭(管弦楽の部)
7月12日	子育て支援センター	命の学習

7月13日 ～9月1日	社会教育課 (塩尻短歌館)	平成25年度夏の企画展第19回「短歌と書」同時開催 学生の書道展
7月13日	交流支援課 図書館 子育て支援センター	読み聞かせ交流会 (第3回)
7月20日	社会教育課 (塩尻短歌館)	塩尻短歌大学第93講
7月20日	社会教育課	芸術文化研修事業 第3回「リズムは楽しいビート道場」
7月20日	交流支援課 図書館 子育て支援センター	読み聞かせ育成講座 (第1回)
7月20日	交流支援課	学生交流ワークショップ
7月21日	社会教育課	第9回市民音楽祭(コーラスの部)
7月21日	子育て支援センター	おいでおいでまつり
7月25日	子育て支援センター	食育講座
7月28日	社会教育課	学びの道小さな旅②「塩尻の自然博物館と高ボッチを訪ねて」
7月28日 ～8月18日	平出博物館	アドベンチャーinひらいで
7月28日	交流支援課 図書館 子育て支援センター	開館三周年記念イベント「わくわくえんぱーくまつり」
7月28日	図書館	短歌絶叫コンサート
8月1日 8月2日	家庭支援室	特別支援教育研修会
8月3日	社会教育課 (自然博物館)	夏の自然観察会～霧が峰高原～
8月3日	交流支援課	サイエンス教室
8月4日	交流支援課	学生交流ワークショップ
8月10日	交流支援課 図書館 子育て支援センター	読み聞かせ交流会 (4回)
8月10日	交流支援課 図書館 子育て支援センター	読み聞かせ育成講座 (2回)
8月11日	図書館	本の寺子屋講演会
8月17日	スポーツ振興課	塩尻市少年相撲教室
8月24日	スポーツ振興課	第33回塩尻市民水泳大会
8月25日	社会教育課 (塩尻短歌館)	塩尻短歌大学第94講
8月25日	社会教育課	第9回塩尻市民音楽祭 (バンドの部)
8月25日	交流支援課 図書館 子育て支援センター	読み聞かせ交流会ステップアップ講座
8月25日	交流支援課	読み聞かせ事業
8月25日	子育て支援センター	こども広場お誕生日パーティー
8月26日	図書館	本の寺子屋講演会
8月29日	子育て支援センター	母乳やミルクについて話そう
9月1日	交流支援課	学生交流ワークショップ
9月7日	交流支援課	学生交流ワークショップ
9月7日	交流支援課 図書館 子育て支援センター	読み聞かせ交流会 (第5回)
9月8日	平出博物館	第10回ひらいで遺跡まつり
9月14日	教育総務課	給食レストラン
9月14日 ～9月16日	交流支援課 図書館 子育て支援センター	木育フェスティバル
9月15日	スポーツ振興課	第25回塩尻市ファミリースポレクフェスティバル
9月20日	子育て支援センター	サポーター養成講座
9月21日 ～11月4日	平出博物館	企画展「田川流域の原始・古代 祈りの世界」
9月21日 ～11月10日	社会教育課 (塩尻短歌館)	秋の企画展「太田水穂 象徴の世界」

9月23日	交流支援課	NPO運営セミナー
9月28日 9月29日	社会教育課 全国短歌フォーラム実行委員会	全国短歌フォーラムin塩尻
9月28日	交流支援課	身近にせまる詐欺犯罪！？いざというときの心構えを学ぼう！
9月29日	社会教育課 (塩尻短歌館)	塩尻短歌大学第95講
9月29日	スポーツ振興課	第5回塩尻ぶどうの郷ロードレース
9月29日	図書館	本の寺子屋対談
10月5日	交流支援課	こどもアトリエタウン
10月6日	教育総務課	給食レストラン
10月6日	交流支援課 子育て支援センター	200万人達成記念イベント
10月12日	交流支援課	講演会「すくすく元気な脳を育てる」
10月14日	交流支援課	聞かせやけいたろう&すがっち
10月19日	社会教育課 (自然博物館)	第2回自然科学講座「松本平の活断層」
10月19日	交流支援課	読み聞かせ交流会(第6回)
10月19日	交流支援課	第1回ちびてつ「～こどもの考える力を引き出す～」ワーク
10月20日	教育総務課	こども未来塾中学生リーダー研修
10月20日	社会教育課	第8回塩尻市民洋楽舞踊フェスティバル
10月24日	子育て支援センター	にこにこだっこ
10月26日	商工課 子育て支援センター 図書館 交流支援課	ハッピーハロウィンイベント
10月27日	社会教育課 (塩尻短歌館)	塩尻短歌大学第96講
10月27日	図書館	本の寺子屋講演会
10月28日	図書館	本の寺子屋講演会
10月29日	子育て支援センター	マタニティーママの準備講座
10月31日	子育て支援センター	焼いも会
11月1日 ～11月3日	社会教育課	塩尻市文化祭・展示発表の部
11月3日	教育総務課	給食レストラン
11月3日	社会教育課	塩尻市文化祭・舞台発表の部
11月4日	図書館	えんぱーく読書週間スペシャルデー
11月5日	子育て支援センター	ママ達のおしゃべりサロン
11月6日 11月7日	家庭支援室 教育総務課	「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」合宿
11月7日	男女共同参画・人権課	女と男21世紀セミナー洗馬地区井戸端会議
11月8日 ～12月23日	平出博物館	企画展「高遠藩財政改革と新倉伴右衛門」
11月9日	子育て支援センター	つくろう広げようパパ友達の輪
11月10日	図書館	本の寺子屋講演会
11月12日 ～11月19日	子育て支援センター	ママ達の文化祭
11月14日	子育て支援センター	食育講座
11月15日	子育て支援センター	親子運動遊び
11月16日	平出博物館	洗馬歴史講演会
11月16日	交流支援課	第1回ちびてつ「～こどもの考える力を引き出す～」ワーク
11月16日	交流支援課	読み聞かせ交流会(第7回)
11月17日	教育総務課	こども未来塾小学生リーダー研修
11月20日	子育て支援センター	布絵本作り
11月23日	交流支援課	セカンドライブで地域デビュー講演会
11月24日	社会教育課 (自然博物館)	冬の自然観察会 秋の小鳥・水鳥観察会
11月24日	交流支援課	学生交流ワークショップ
11月25日	図書館	本の寺子屋講演会
11月26日	男女共同参画・人権課	女と男21世紀セミナー片丘地区井戸端会議
11月28日	子育て支援センター	食育講座

11月30日	スポーツ振興課	ファミリースポレクフェスティバルワンバウンドふらばーるバレーボール大会
12月 1日	教育総務課	こども未来塾中学生リーダー研修（来年度の新役員（現在、2年生）を対象に開催）
12月 1日	男女共同参画・人権課	豊かな心を育む市民の集い
12月 1日	図書館	本の寺子屋講座
12月 7日	交流支援課 図書館 子育て支援センター	読み聞かせ交流会（第8回）
12月 8日	社会教育課	第7回塩尻市民演劇フェスティバル
12月 8日	交流支援課 図書館 子育て支援センター	えんぱーくクリスマス2013
12月12日	男女共同参画・人権課	宗賀地区男女共同参画推進会議
12月19日	スポーツ振興課	平成25年度市民健康体力づくり教室
12月21日	交流支援課	第3回ちびてつ「～こどもの考える力を引き出す～」ワークショップ
1月 5日	社会教育課	第48回新春書初め大会
1月11日	交流支援課 図書館 子育て支援センター	読み聞かせ交流会（第9回）
1月12日	社会教育課	平成26年成人式
1月18日	スポーツ振興課	第54回塩尻市民体育祭冬季大会スケート競技会（兼）第34回塩尻市朝日村ジュニアスケート競技大会
1月18日	子育て支援センター	育児支援講演会 「すべては子供たちの幸せのために」
1月19日	社会教育課 （塩尻短歌館）	短歌の里コンサート1回目
1月25日	交流支援課	第4回ちびてつ「～こどもの考える力を引き出す～」ワークショップ
1月26日	交流支援課	10倍伝わる話し方講演会
1月27日	図書館	本の寺子屋講座
1月28日	男女共同参画・人権課	男女共同参画推進企業セミナー
1月30日	子育て支援センター	母乳やミルクについて話そう
1月31日	子育て支援センター	アレルギー除去食について話そう
2月 1日	男女共同参画・人権課	女と男21世紀セミナーシンポジウム
2月 2日	社会教育課	木曾考古館閉館記念事業
2月 2日	社会教育課 （塩尻短歌館）	第19回短歌の里百人一首大会
2月 7日	子育て支援センター	乳児救急法
2月 8日	図書館 交流支援課	読み聞かせ交流会「夫婦読み絵本ライブ&ワークショップ」
2月10日	交流支援課	NPO法人G-net代表理事秋元祥治さん講演会
2月21日 2月28日 3月 7日 3月14日	スポーツ振興課	ストレッチヨガ講座
2月22日	こども課	春待ちコンサート in えんぱーく～広げよう子育ての輪～
2月23日	図書館	本の寺子屋講演会
2月25日	子育て支援センター	にこにこだっこ
2月28日	子育て支援センター	春代来い ひな祭り先取りコンサート
3月 1日	子育て支援センター	つくろう広げようパパ友達の輪 パン&ピザ作り
3月 3日	子育て支援センター	リトミック
3月 8日	交流支援課 図書館 子育て支援センター	読み聞かせ交流会（第10回）
3月 9日	スポーツ振興課	社会体育指導者研修会（スポーツ外傷予防講習会）
3月 9日	社会教育課	早春のつどい
3月 9日	図書館	本の寺子屋講演会
3月13日	子育て支援センター	命の学習（檜川中学校）
3月15日	子育て支援センター	命の学習
3月15日	交流支援課	ちびてつ
3月15日	交流支援課	Life with music ～私と音楽の未来を想像しよう～
3月22日	交流支援課	えんぱーく美術館「たまごのえのぐをつくって絵をかこう」

平成26年度事務事業評価(平成25年度実績)

総括表

主要事業数

部等名	主要事業数
こども教育部	10
生涯学習部	9
市民交流センター	3
計	22

今後の方針

事業の方向性	主要事業数
A:内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当	8
B:現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当	13
C:事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要	1
D:事業の抜本的見直し、休・廃止の検討	0
E:目的が達成されたことによる事業の完了	0
計	22

塩尻市教育委員会事務局

平成26年度事務事業評価(平成25年度実績)

総括表

主要事業数

課等名	主要事業数
教育総務課	5
こども課	3
家庭支援室	2
計	10

こども教育部

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	257 教育委員会事務局諸経費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	02 子どもたちの生きる力をはぐくむ				
項	01 特色ある学校教育をおこないます				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100102-030000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	その他				
法令等条項	塩尻市教育振興審議会条例				
全体事業概要			事業の対象		
教育委員会事務局の運営 教育振興基本計画の策定			教育委員会事務局		
			事業の手段		
			教育委員会事務局の運営 教育振興審議会の開催		
問題点・課題等			事業の意図		
開かれた教育委員会の推進 塩尻市の特質を生かした教育振興基本計画の策定			教育委員会事務局の円滑な運営及び教育諸施策の情報発信 教育振興基本計画の策定		
部名	40 こども教育部		課名	10 教育総務課	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額	
事業費	千円		3,557	4,287	5,599	8,613	
内 訳	千円	学校評議員謝礼	523	501	495	616	
		会議録作成委託料	226	331	245	350	
		自動車等借上料	454	239	195	592	
		電子複写機使用料	367	493	518	522	
		パソコン等使用料	343	343	955	1,286	
			598	781	128	335	
			1,046	1,599	987	2,605	
			0	0	2,076	2,307	
人件費等	千円		215	212	700	700	
正規職員	人千円	0.03	215	0.03	212	0.1	700
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0	0
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円		3,772	4,499	6,299	9,313	
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	3,772	4,499	6,299	9,313	
	合計	千円	3,772	4,499	6,299	9,313	

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育施策の実施にむけて、教育委員会事務局の庶務を効率的かつ効果的に進めるとともに、教育諸施策の成果等につき情報発信に努めました。 ・塩尻市第5次総合計画の個別計画としての塩尻市教育振興基本計画の策定のために、教育振興審議会を開催し、また、小中学校全保護者を対象としたアンケートを実施しました。 ・基幹系システム変更に伴い、学齢簿システムの更新を行いました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報しおじり」へ25件(25ページ)の特集等記事を掲載し情報発信に努めました。 ・教育振興審議会を3回、キャリア教育部会を1回開催し、教育振興基本計画の審議を行い計画推進を図りました。 ・保護者アンケートを紙媒体だけでなくインターネット等の活用も図り、有効回答率72.3%となりました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局の運営を、引き続き円滑に進め、開かれた教育委員会の実現を目指す必要があります。 ・平成26年度中に本市の特質を生かした教育振興基本計画を各計画との整合性を図りながら策定する必要があります。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)				
活動				
成果	「広報しおじり」への特集等記事掲載	件	20	25

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有			
		無			
	類似・関連の事業	有			
		無			
	19市の実施状況	全て実施	一部実施	本市のみ実施	
	施策の目的を実現できるか	実現できる		できない	
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務	②受益者が不特定多数	③必要な生活環境水準の確保	
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる	⑤社会的・経済的弱者を対象	⑥民間だけでは負担できない	
		⑦民間だけでは供給不足	⑧市の個性、魅力を発信できる	⑨第三者にも受益がある	
効率性 (コスト)	実施主体	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない
	※該当すべてを選択	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。		②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。	
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。		④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。	
	削減効果	人力的な効果	《入力》 人工/日	経費的な効果	《入力》 千円

総合評価	A	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	事務処理の効率化を図る。
取り組む 改善内容	事務処理の効率化を図る。
教育委員の 評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局職員は、積極的に学校訪問・諸行事・催しものに参加し、現場との連携を深めるとともに事業成果の把握に努めていた。 ・開かれた学校づくりのために、学校評議員会をさらに機能させる。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	228 「笑顔で登校」推進事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	02 子どもたちの生きる力をはぐくむ				
項	02 子どもたちの成長と発達を支援し学習機会を提供します				
事業期間	平成23年度～平成25年度	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100102-100000		
事業区分	ソフト	主管課順位	9	部順位	12
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業の対象		
小中学校の不登校傾向児童生徒に対し、個々の状況に応じたきめ細やかなフォローや未然防止策を関係機関が連携し合い、包括的に推進し、不登校の改善を図る。 平成26年度から、教育相談研究事業、小学校管理諸経費及び塩嶺体験学習の家運営諸経費に整理統合。			小学生、中学生、保護者及び教職員		
			事業の手段		
			・心理テストQ-Uの実施(中1、小高学年) ・塩嶺体験学習の家を活用した体験学習実施 ・子と親の心の相談員、スーパーバイザーの配置		
問題点・課題等			事業の意図		
・不登校傾向要因の多様化 ・包括的な支援体制の確立			小中学校の不登校傾向児童生徒に対し、個々に応じたきめ細やかなフォローや未然防止策を関係機関が連携、包括的に推進し、状況の改善を図る。		
部名	40 こども教育部		課名	10 教育総務課	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額			
事業費	内 訳	千円	339	1,955	2,235	0			
		千円	消耗品費	289	1,333	1,406	0		
			その他	50	572	777	0		
				0	50	52	0		
				0	0	0	0		
				0	0	0	0		
				0	0	0	0		
				0	0	0	0		
				0	0	0	0		
		人件費等	千円	13,750	13,638	8,750	0		
正規職員	人千円	1.25	8,950	1.25	8,838	1.25	8,750	0	0
嘱託職員	人千円	2	4,800	2	4,800	0	0	0	0
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	14,089	15,593	10,985	0				
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0			
	県支出金	千円	168	930	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
	一般財源	千円	13,921	14,663	10,985	0			
	合計	千円	14,089	15,593	10,985	0			

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校傾向等の学校不適応児童生徒に対し、県教委派遣の指導主事を中核に、学校スーパーバイザー、子と親の心の相談員、教育相談員が連携した支援体制により、学校、家庭、行政、関係機関等が包括的に、きめ細やかな相談、連絡調整等の支援を行いました。 ・定期的に学校訪問連絡会を開催し、市教育委員会内における情報の共有を行い、支援内容等について検討を重ねました。 ・中学校1年生及び小学校高学年生に、Q-Uアンケート(学級満足度調査)を実施したほか、アンケートの分析、活用研修会を教職員に対し行い、学級経営に活かす取り組みを行うなど、中1ギャップ等解消に努めました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒の在籍率は長野県下でも低い水準にあり、良好な状況といえます。 ・指導主事を中核とした支援体制が確立し、児童生徒の不登校対策や学校不適応対策により、良好な学校環境が保たれるとともに、家庭支援へもつながっており、波及効果が見られます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校要因が多様化するとともに、低年齢化が進んでいます。今後は、元気っ子応援事業との連携をさらに深めるなど、小学校の不登校対策を強化することにより、未然防止を図っていく必要があります。 ・小学校高学年生に対するQ-Uアンケートを、年2回に拡大(1回増)するための予算を26年度予算に計上しました。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	—	—	—	—
活動	心理テストQ-Uの実施(中1年2回、小高学年1回)	回	3	3
成果	不登校児童生徒数の在籍比率	%	0.38	0.73

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	→支援体制の確立を目指す			
		無				
	類似・関連の事業	有				
		無				
	19市の実施状況	全て実施	一部実施	本市のみ実施		
	施策の目的を実現できるか	実現できる		できない		
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務	②受益者が不特定多数	③必要な生活環境水準の確保		
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる	⑤社会的・経済的弱者を対象	⑥民間だけでは負担できない		
		⑦民間だけでは供給不足	⑧市の個性、魅力を発信できる	⑨第3者にも受益がある		
効率性 (コスト)	実施主体	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない	
	※該当すべてを選択	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。		②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。		
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。		④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。		
	削減効果	人力的な効果	《入力》 人工/日	経費的な効果	《入力》 千円	
総合評価	A	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当			
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当			
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要			
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討			
		E	目的が達成されたことによる事業の完了			

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	現行の不登校対策を検証し、改善の仕組みづくりを確立する。
取り組む 改善内容	現行の不登校対策を検証し、改善の仕組みづくりを確立する。
教育委員の 評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の未然防止のため、組織全体で関係者との連絡を密にしていくことを望む。また、いったん不登校になった子ども・親の苦しみは大変なものであるため、心の安心を担保するため、カウンセリング体制の充実を望む。 ・不登校対策には、積極的な取り組みがなされている。しかし、家庭に対しての関わりが必要なケースも増えており、外部機関との連携強化や、人的配置強化について検討していきたい。 ・不登校児童生徒数の数字にのみこだわることなく、一人ひとりの特性や実情、家庭の状況に配慮した支援に心がけたい。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	6965 給食公会計事務諸経費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	02 子どもたちの生きる力をはぐくむ				
項	01 特色ある学校教育をおこないます				
事業期間	平成25年度～	新規/継続	新規		
会計区分	一般	予算科目	1-100102-130000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業の対象		
学校給食費の収納、管理に必要な事務を行う。			保護者、PTA及び学校職員		
			事業の手段		
			<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食費の収納管理 ・食材費等の一括管理と執行 		
問題点・課題等			事業の意図		
収納率向上を含めた、きめ細やかな収納体制			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の納付の利便性向上 ・給食費に係る学校職員及びPTAの負担減 ・給食会計事務の効率化及び健全化 		
部名	40 こども教育部		課名	10 教育総務課	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額
事業費	内 訳	千円	0	0	3,350	3,297
		千円	0	0	469	486
			0	0	印刷製本費	印刷製本費
			0	0	339	259
			0	0	郵便料	郵便料
			0	0	170	175
			0	0	口座振替手数料	口座振替手数料
			0	0	513	601
			0	0	その他使用料及び賃借料	その他使用料及び賃借料
		0	0	1,775	1,776	
0	0	備品購入費	備品購入費			
0	0	84	0			
0	0	0	0			
0	0	0	0			
人件費等	千円	0	0	9,600	9,600	
正規職員	人千円	0	0	1.2	8,400	
嘱託職員	人千円	0	0	0.5	1,200	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	0	12,950	12,897	
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	12,950	12,897
	合計	千円	0	0	12,950	12,897

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・給食費収納システムの運用を開始しました。 ・給食費の収納管理に関する事務を、各学校から市へ移管しました。 ・私会計時の未納金額の債権を各学校から市へ移管(譲渡)しました。 ・全保護者に対し、給食費納入の手続きを勧奨しました。 ・未納者には督促状の送付や訪問催促のほか、納入を促す通知を送付したり、児童手当等による納入を勧奨したりと、きめ細かな対応をしました。 ・未納者には学校での保護者懇談会の後を活用して、納付相談を行いました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・納入方法及び金融機関を選択できるなど、保護者の納付の利便性が向上しました。 ・PTA役員の負担が無くなり、学校職員の事務負担も大きく軽減されました。 ・給食費負担の公平性が増すとともに、会計事務の効率化と透明性が確保されました。 ・給食費収納率が前年度に比べ、大きく改善しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・公会計制度の効率運用に向け、1年目の事務事業を精査し、改善する必要があります。 ・悪質未納者への法的措置を含めた納入促進策を、検討・実行する必要があります。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)				
活動	児童手当からの徴収勧奨通知の発送	回	2回	2回
成果	口座振替及び児童手当徴収申込み率 給食費徴収率	% %	99.70% 99.53%	99.73% 99.75%

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有			
	類似・関連の事業	有			
	19市の実施状況	有	無		
	施策の目的を実現できるか	有	無	有	無
妥当性	必要性(市の関与)	全て実施		一部実施	本市のみ実施
	※該当すべてを選択	実現できる		できない	
	①法律上の義務 ④市民の不安を解消できる ⑦民間だけでは供給不足	②受益者が不特定多数 ⑤社会的・経済的弱者を対象 ⑧市の個性、魅力を発信できる	③必要な生活環境水準の確保 ⑥民間だけでは負担できない ⑨第三者にも受益がある		
効率性 (コスト)	実施主体 ※該当すべてを選択	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない
	経済性・手法 ※該当すべてを選択	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。	②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。	③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。	④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。
	削減効果	人力的な効果	《入力》 人工/日	経費的な効果	《入力》 千円

総合評価	B	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	公会計制度の効率的な運用に向けた検討
取り組む 改善内容	公会計制度の効率的な運用に向けた検討
教育委員の 評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・給食公会計化は、学校にとって、未納者対応や、納入面で大きなメリットがある。アレルギー対策等が求められているが、保護者にとって食に対する配慮策は、最大の関心事となっている。塩尻市は先進の対応をしていると思うので、PRを進めてほしい。 ・慢性的な未納者への納入促進を図っていただきたい。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	74 小学校情報教育推進費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	02 子どもたちの生きる力をはぐくむ				
項	01 特色ある学校教育をおこないます				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100202-030000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業の対象		
パソコン等、小学校の情報機器の管理運営とそれを利用した学習活動の推進			小学生及び教職員		
			事業の手段		
			パソコン等、情報機器の管理運営と活用		
問題点・課題等			事業の意図		
教職員のICT活用指導力に対する研修充実が必要 パソコンの児童への充足率の向上 タブレット端末の導入に向けた検討			ICT活用教育を推進し、分かりやすい授業の展開による学力の向上		
部名	40 こども教育部		課名	10 教育総務課	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額	
事業費	千円		68,399	68,422	65,609	64,172	
	内 訳	千円	電算機器使用料	68,399	68,399	65,591	63,857
			0	23	18	315	
			0	0	0	0	
			0	0	0	0	
			0	0	0	0	
			0	0	0	0	
			0	0	0	0	
			0	0	0	0	
人件費等	千円		2,363	2,333	2,310	2,310	
正規職員	人千円	0.33	2,363	2,333	2,310	2,310	
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	
総事業費	千円		70,762	70,755	67,919	66,482	
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円		70,762	70,755	67,919	66,482
	合計	千円		70,762	70,755	67,919	66,482

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の普通教室(130教室)及びパソコン教室(9教室)にICT機器を配備し、ICT活用教育を推進しました。 ・小学校9校におけるICTを活用した授業を1学級あたり109時限(年間)実施しました。 ・25年度のシステム更新にあたり、情報推進課と協議しながら、システムのセキュリティ強化や導入ソフト等の見直しを行い、経費削減に努めました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育の推進により、より分かりやすい授業による児童の学力向上につながっています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のICT活用指導力に個人差があるため、指導主事による研修の充実等が必要。 ・PCの配備の国の努力目標は、3.6人に1台。 ・今後、タブレット端末の導入に向けた検討が必要。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	—	—	—	—
活動	PCの配備状況(児童6.89人あたり) (小中学校平均6.78人あたり1台)	台	1 (3.6人あたり)	1 (児童5.88人あたり)
成果	ICTを活用した授業時限数(1学級あたり)	時限	120	109

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	→ICT活用教育に対する教員の意識向上を図る						
	類似・関連の事業	有							
		無							
	19市の実施状況	全て実施	一部実施	本市のみ実施					
	施策の目的を実現できるか	実現できる		できない					
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務		②受益者が不特定多数		③必要な生活環境水準の確保			
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる		⑤社会的・経済的弱者を対象		⑥民間だけでは負担できない			
		⑦民間だけでは供給不足		⑧市の個性、魅力を発信できる		⑨第三者にも受益がある			
効率性 (コスト)	実施主体	①他でも市民サービスができる		②他を活用するとコストが下がる		③他が持つノウハウを活用できる		④他を活用しても行政責任は問われない	
	※該当すべてを選択	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。			②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。				
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。			④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。				
	削減効果	人力的な効果		《入力》 人工/日		経費的な効果		《入力》 千円	

総合評価	B	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	長期的なICTを活用する計画の策定(タブレット端末の導入の可否)
取り組む 改善内容	長期的なICTを活用する計画の策定(タブレット端末の導入の可否)
教育委員の 評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育は、益々その必要性が高まると思うが、現場を回ってみると、分かりやすい授業に向けての有用度、活用度にやや疑問を感じる。児童の学習活動の効果が上がるよう有効活用を一層進めたい。 ・ICTを活用した授業は、指導者によって頻度や質の差があるため、その差をいかに縮めていくかが、今後の課題である。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	236 中学校情報教育推進費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	02 子どもたちの生きる力をはぐくむ				
項	01 特色ある学校教育をおこないます				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100302-030000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業の対象		
パソコン等、中学校の情報機器の管理運営とそれを利用した学習活動の推進			中学生及び教職員		
問題点・課題等			事業の手段		
教職員のICT活用指導力に対する研修充実が必要 パソコンの生徒への充足率の向上 タブレット端末の導入に向けた検討			パソコン等、情報機器の管理運営と活用		
問題点・課題等			事業の意図		
教職員のICT活用指導力に対する研修充実が必要 パソコンの生徒への充足率の向上 タブレット端末の導入に向けた検討			ICT活用教育を推進し、分かりやすい授業の展開による学力の向上		
部名	40 こども教育部		課名	10 教育総務課	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額	
事業費	千円		38,847	37,586	36,488	36,236	
	内 訳	千円	電算機器使用料	38,847	37,446	36,446	36,061
			情報機器修繕料	0	140	42	175
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
				0	0	0	0
	人件費等	千円	2,363	2,333	2,310	2,310	
正規職員	人千円	0.33	2,363	0.33	2,333	0.33	2,310
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0	0
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	41,210	39,919	38,798	38,546		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	41,210	39,919	38,798	38,546	
	合計	千円	41,210	39,919	38,798	38,546	

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の普通教室(60教室)及びパソコン教室(5教室)にICT機器を配備し、ICT活用教育を推進しました。 ・中学校5校におけるICTを活用した授業を1学級あたり152時限(年間)実施しました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育の推進により、より分かりやすい授業による生徒の学力向上につながっています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のICT活用指導力に個人差があるため、指導主事による研修の充実等が必要。 ・PCの配備の国の努力目標は、3.6人に1台。 ・今後、タブレット端末の導入に向けた検討が必要。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	—	—	—	—
活動	PCの配備状況(生徒6.58人あたり) (小中学校平均6.78人あたり1台)	台	1 (3.6人あたり)	1 (生徒6.40人あたり)
成果	ICTを活用した授業時限数(1学級あたり)	時限	160	152

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	→ICT活用教育に対する教員の意識向上を図る						
	類似・関連の事業	有							
		無							
	19市の実施状況	全て実施	一部実施	本市のみ実施					
	施策の目的を実現できるか	実現できる		できない					
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務		②受益者が不特定多数		③必要な生活環境水準の確保			
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる		⑤社会的・経済的弱者を対象		⑥民間だけでは負担できない			
		⑦民間だけでは供給不足		⑧市の個性、魅力を発信できる		⑨第三者にも受益がある			
効率性 (コスト)	実施主体	①他でも市民サービスができる		②他を活用するとコストが下がる		③他が持つノウハウを活用できる		④他を活用しても行政責任は問われない	
	※該当すべてを選択	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。			②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。				
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。			④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。				
	削減効果	人力的な効果		《入力》 人工/日		経費的な効果		《入力》 千円	

総合評価	B	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	長期的なICTを活用する計画の策定(タブレット端末の導入の可否)
取り組む 改善内容	長期的なICTを活用する計画の策定(タブレット端末の導入の可否)
教育委員の 評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校も小学校と同様に、生徒の学習活動の効果が上がるよう有効活用を一層進めたい。 ・タブレット端末は、様々な意見があり、有用性を十分判断したうえでの導入を望む。 ・ICT活用教育の必要性は、今後益々高まることが予想されるので、個々の教職員の指導力を高めてほしい。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	284 育児支援推進事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	02 安心して暮らせる福祉のまちをともに作る				
節	02 安心して生み育てられる環境をつくる				
項	02 子育てと仕事の両立を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-030202-040000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業の対象		
あそびの広場、つどいの広場、異年齢児との交流、高齢者との世代間交流などの交流事業を通じて、子育ての相談や育児体験を行い、育児を支援しました。病児、病後児保育や子育て支援ショートステイ事業の実施により、子育てと仕事の両立の支援をしました。			就園児及び未就園児とその保護者		
			事業の手段		
			あそびの広場及びつどいの広場の開催、異年齢児交流事業、高齢者との世代間交流事業等の実施 病児、病後児保育、子育て支援ショートステイの実施		
問題点・課題等			事業の意図		
病児・病後児保育について、市北部地域への拠点設置の要望が寄せられています。			就園児やその保護者、地域との交流を深めることにより、保護者の育児不安の解消に寄与するための事業である。		
部名	40 こども教育部		課名	20 こども課	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額	
事業費		千円	7,441	7,102	6,005	8,038	
内 訳	千円	講師謝礼等	440	429	447	703	
		印刷製本費等	1,018	1,020	1,354	1,043	
		保育費	897	666	761	1,008	
		子育て支援ショートステイ事業委託料	186	87	380	384	
		病児・病後児保育事業委託料	4,900	4,900	3,063	4,900	
			0	0	0	0	
			0	0	0	0	
			0	0	0	0	
人件費等		千円	7,160	7,070	9,100	9,100	
正規職員	人千円	1	7,160	1	7,070	1.3	9,100
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0	0
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0
総事業費		千円	14,601	14,172	15,105	17,138	
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	5,237	4,356	2,033	3,246	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	9,364	9,816	13,072	13,892	
	合計	千円	14,601	14,172	15,105	17,138	

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で育児の支援をするため、保育園や児童館などでの相談業務や交流事業を行いました。また、高齢者や異年齢の子どもたちとの交流、文化継承者との交流を深めました。 ・特別保育事業 <ul style="list-style-type: none"> つどいの広場：未就園児と保護者を対象に保育・育児についての情報交換の場を提供しました。(保育園：3園、児童館：8館) ・あそびの広場：未就園児と保護者を対象に講座を開設しました。(保育園：14園、児童館：8館) ・高齢者との世代間交流を行いました。(保育園：9園) ・異年齢児交流を行いました。(小・中学生や社会福祉施設利用者との交流)(保育園：5園) ・郷土文化の伝承を行いました。(保育園：2園) ・緊急時の保護者を幅広く支援するため、子育て支援ショートステイ事業及び病児・病後児保育事業を推進しました。 <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援ショートステイ事業：保護者の宿泊を伴う急な出張、入院等の理由による児童の一時預かりを行いました。 (委託先：松本児童園、松本赤十字乳児院、木曾ねざめ学園 延べ20人 57泊) 病児・病後児保育事業：病気または病気回復期の児童の一時預かりを行いました。 (委託先：敬仁会 延べ53人 委託料：3,062,500円)
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就園児やその保護者、地域との交流を深めることにより、保護者の育児不安の解消に寄与しました。 ・保護者が急用等で児童を保育できないときの育児支援を行うことができました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育事業に関しては、現施設の利便性の向上を図る。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	—	—	—	—
活動	あそびの広場事業に参加した親子数 病児・病後児保育利用者数	組 人		292 53
成果	子育ての不安、悩み解消のためのサポート体制の充実度	%		34.7

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	拠点施設を増やし、利便性の向上を図る。		
	類似・関連の事業	無			
	19市の実施状況	有			
	施策の目的を実現できるか	無			
			全て実施	一部実施	本市のみ実施
			実現できる		できない
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務	②受益者が不特定多数	③必要な生活環境水準の確保	
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる	⑤社会的・経済的弱者を対象	⑥民間だけでは負担できない	
		⑦民間だけでは供給不足	⑧市の個性、魅力を発信できる	⑨第3者にも受益がある	
効率性 (コスト)	実施主体	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない
	※該当すべてを選択	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。		②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。	
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。		④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。	
	削減効果	人間的な効果	《入力》 人工/日	経費的な効果	《入力》 千円
総合評価	B	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当		
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当		
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要		
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		
		E	目的が達成されたことによる事業の完了		

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	特別保育事業のつどいの広場やあそびの広場の対象者が子育て支援センターの対象者と重なる。
取り組む 改善内容	特別保育事業のつどいの広場やあそびの広場の対象者が子育て支援センターの対象者と重なる。
教育委員の 評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・育児相談の場を地域に広げたことは、支援事業を身近に感ずるきっかけとなった。育児に悩み親へは、アンテナを高くし、声がけを進めたい。 ・病児・病後児保育事業に関しては、利便性を担保するため、実施事業所を増やす必要があると思われる。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	5959 子ども・子育て支援事業計画策定事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
	章	02 安心して暮らせる福祉のまちをともに作る			
	節	02 安心して生み育てられる環境をつくる			
項	02 子育てと仕事の両立を支援します				
事業期間	平成25年度～	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-030202-070000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項	子ども・子育て支援法第3条				
全体事業概要			事業の対象		
「子ども・子育て支援法」に基づき、「塩尻市子ども・子育て支援事業計画」を策定する。			市内在住で主に0～5歳の子ども及び子どもを養育している者		
			事業の手段		
問題点・課題等			今後の子育て支援に関するニーズを捉え、家庭、学校、地域、職域、その他社会全体が協力して健やかに子どもが成長できるよう支援する。		
			事業の意図		
区域ごとのニーズに対しどのような確保方策を考るか、また、その区域をどのエリアに設定するのが課題である。			子育てを安心して行える環境を整えるための事業である。		
部名	40 こども教育部		課名	20 こども課	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額	
事業費	内 訳	千円	0	0	1,938	8,765	
		千円	0	0	委員報酬 18人分 78	委員報酬 18人分 242	
			0	0	費用弁償 3	託児保育士賃金 53	
			0	0	印刷製本費 42	費用弁償 27	
			0	0	郵便料 324	計画策定委託料 2,700	
			0	0	計画策定委託料 1,491	支援システム構築委託料 5,616	
			0	0	0	支援システムデータ移行委託料 127	
			0	0	0	0	
			0	0	0	0	
		人件費等	千円	0	0	3,500	9,100
正規職員	人千円	0	0	0.5	3,500	1.3	9,100
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0	0
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	0	0	5,438	17,865		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	4,000	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	0	5,438	13,865	
	合計	千円	0	0	5,438	17,865	

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・塩尻市子ども・子育て会議を2回開催し、アンケート調査項目などについて意見をいただくとともに、実施したアンケート結果からニーズ量を推計するにあたって審議いただいた。 (委員参加者数：1回目 17人/18人中、2回目 13人/18人中) ・11月に、市内在住で0歳から5歳の子どもを持つ保護者1,900人を無作為抽出し、子育て支援に関するアンケート(設問数45、自由記述欄1)を実施し、1,567人(回収率 82.5%)から回答を得て、現在の保育ニーズの把握を行いました。
成果	子ども・子育て支援事業計画を策定する上での保育に対する各種ニーズ量を把握することができました。また、保護者の子育てに対する喜びや不安等、様々な思いを知り、今後の施策に反映させていく材料になりました。
課題	区域(エリア)ごとの多様なニーズに対して、方策をどのように確保していくかが課題になっています。また、その区域の設定の仕方も今後の検討課題です。

【Do】4. 指標

指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	—	—	
活動	アンケート調査の回収率	%	60
成果	安心して子どもを預けられる環境の充実度	%	75

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	今後、会議の中で議論を深め方策を検討する。						
	類似・関連の事業	有							
		無							
	19市の実施状況	全て実施	一部実施	本市のみ実施					
	施策の目的を実現できるか	実現できる			できない				
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務		②受益者が不特定多数		③必要な生活環境水準の確保			
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる		⑤社会的・経済的弱者を対象		⑥民間だけでは負担できない			
		⑦民間だけでは供給不足		⑧市の個性、魅力を発信できる		⑨第三者にも受益がある			
効率性 (コスト)	実施主体	①他でも市民サービスができる		②他を活用するとコストが下がる		③他が持つノウハウを活用できる		④他を活用しても行政責任は問われない	
	経済性・手法	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。				②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。			
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。				④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。			
	削減効果	人力的な効果		《入力》 人工/日		経費的な効果		《入力》 千円	

総合評価	B	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	市の上位計画である第5次塩尻市総合計画との整合を図る。
取り組む 改善内容	市の上位計画である第5次塩尻市総合計画との整合を図る。
教育委員の 評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・公報等を通じアンケートの内容やアンケートの結果、また、そこから策定した計画の概要等を市民に知らせ、子育て行政の共有化を図って欲しい。 ・アンケート結果が子育て世代のニーズのすべてではないと思うので、今後も様々な場所や場面で市民の意見要望を聞く必要があると思う。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	148 児童館・児童クラブ運営費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	02 安心して暮らせる福祉のまちをともに作る				
節	02 安心して生み育てられる環境をつくる				
項	02 子育てと仕事の両立を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-030205-030000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業の対象		
子どもに健全な遊びを提供して、その心身の健康を増進し情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての児童館と、保護者が就労等により昼間家庭にいない、主に小学校1年生から3年生に就学している児童に適切な遊びや生活の場を提供し、集団生活を通して健全な育成を図るため、児童館で預かる放課後児童クラブの運営経費。			児童館：18歳未満の児童 放課後児童クラブ：保護者が昼間家庭にいない小学校の児童		
			事業の手段		
			子どもの遊びや生活の場の提供と、地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成します。		
問題点・課題等			事業の意図		
児童館の中に児童クラブが併設されていることにより利用形態が分かりにくい。より利用しやすい児童館・児童クラブとなるよう研究していく必要があります。			児童館・放課後児童クラブを充実させることで、放課後一定のルールの下で、社交性や協調性を身に付け、保護者の子育てと仕事の両立を支援する事業である。		
部名	40 こども教育部		課名	20 こども課	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額			
事業費	内 訳	千円	28,744	29,207	26,517	38,168			
		千円	賃金	8,092	8,358	7,445	15,260		
			需用費	5,254	5,249	4,920	6,472		
			役務費	905	855	888	1,023		
			委託料	14,176	14,430	12,737	13,305		
			その他	317	315	527	2,108		
				0	0	0	0		
				0	0	0	0		
	0	0	0	0					
人件費等	千円	85,444	87,313	86,900	87,800				
正規職員	人千円	5.9	42,244	5.9	41,713	5.9	41,300	5	35,000
嘱託職員	人千円	18	43,200	19	45,600	19	45,600	22	52,800
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	114,188	116,520	113,417	125,968				
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0			
	県支出金	千円	23,235	22,258	22,604	21,690			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	231	258	248	84			
	一般財源	千円	90,722	94,004	90,565	104,194			
	合計	千円	114,188	116,520	113,417	125,968			

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 児童館・児童クラブの運営をしました。 児童館では、子どもに健全な遊びを提供するため、あそびの広場、つどいの広場などの子育て支援事業や児童館独自の児童厚生事業を実施しました。 放課後児童クラブでは、就労等により昼間家庭に保護者がいない児童に対し、適切な遊びや生活の場を提供しました。 そのほか、子育て相談を随時行うことで、地域の子育て支援を進めることができました。 児童館の延利用人数は、次のとおりでした。(うち、児童クラブの延べ利用人数、登録人数) 平成25年度・・・74,560人(64,454人、577人) 平成24年度・・・76,698人(65,484人、659人)
成果	児童館・児童クラブの運営を通じて、子どもの健全な居場所づくりと、保護者の子育てと仕事の両立を支援することができました。
課題	児童館・児童クラブの利用形態に対して様々な要望があり、児童館の中に児童クラブが併設されているという運営形態のわかりにくさがあり、より利用しやすい児童館・児童クラブとなるよう双方の利用促進を図り、利用時間の延長、利用に対する有料化等研究していく必要があります。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	—	—	—	—
活動	児童館の延べ利用人数	人	12,000	10,106
成果	あそびの広場の延べ参加者数	人	1,300 児童館実施分のみ	4,070

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	4年生以上の受け入れ実施		
	類似・関連の事業	有			
		無			
	19市の実施状況	全て実施	一部実施	本市のみ実施	
	施策の目的を実現できるか	実現できる		できない	
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務	②受益者が不特定多数	③必要な生活環境水準の確保	
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる	⑤社会的・経済的弱者を対象	⑥民間だけでは負担できない	
		⑦民間だけでは供給不足	⑧市の個性、魅力を発信できる	⑨第3者にも受益がある	
効率性 (コスト)	実施主体	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない
	経済性・手法	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。		②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。	
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。		④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。	
	削減効果	人間的な効果	《入力》 人工/日	経費的な効果	《入力》 千円

総合評価	A	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員改善提案	児童館と児童クラブとのすみ分けを明確にする。また19市中15市が児童クラブの利用料金が有料のため、受益者負担の原則から、有料化について検討する。
取り組む改善内容	児童クラブの場所の問題については、各区の公民館の有効活用を図る。
教育委員の評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の空き教室を活用した児童クラブの設置は、利用者の安心面で有効と思われる。地域の方の参加参画により、活用内容が充実してきている。学習面の補充を望むのは厳しいか。 26年度より6年生まで児童クラブ対象学年を上げたことに対しては評価できる。目的が違う児童館と児童クラブの運営形態を見直す方向で検討するべきではないか。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	101 家庭教育支援事業諸経費				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	02 安心して暮らせる福祉のまちをともに作る				
節	02 安心して生み育てられる環境をつくる				
項	03 悩みを抱える家庭を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-030204-020000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項	児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律				
全体事業概要			事業の対象		
多様化する家庭が抱える様々な課題を解決するために、子どもの基本的な生活習慣の定着や子どもと大人・教職員に対する人権学習機会の提供、関係機関と連携した虐待の対応、虐待の予防対策の充実を図ります。			18歳未満の児童及びその保護者、関係者		
			事業の手段		
			・CAP研修の開催 ・「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」市民運動の推進 ・要保護児童対策地域協議会の運営		
問題点・課題等			事業の意図		
・虐待等の相談は、毎年複雑化、深刻化しています。 ・新規相談と既存相談（終結を除く）の合計対応件数は毎年増加しています。			・子どもや家庭への相談支援を行い、子どもたちの健やかな成長を支援するための事業である。		
部名	40 こども教育部		課名	30 家庭支援室	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額
事業費	内 訳	千円	2,414	2,111	2,809	3,428
		賃金	125	51	69	314
		報償費	241	226	34	121
		需用費	624	563	443	691
		委託料	1,171	1,038	1,363	1,410
		使用料及び賃借料	202	202	824	791
		その他	51	31	76	101
		0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	
人件費等	千円	14,320	14,140	14,000	14,000	
正規職員	人千円	2	2	2	2	
14,320	14,320	14,140	14,000	14,000	14,000	
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	
総事業費	千円	16,734	16,251	16,809	17,428	
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	185	0	0	10
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	16,549	16,251	16,809	17,418
	合計	千円	16,734	16,251	16,809	17,428

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」市民啓発事業として「おはなしファミリー劇場」を開催しました。(参加者300人) ・基本的な生活習慣を身につけるため、「早ね早おき朝ごはん・どくしょ合宿」を開催しました。(参加者23人) ・要保護児童対策地域協議会代表者会議1回・定例事務者会議4回・個別ケース会議49回を開催し、情報交換と具体的な事例を検討しました。 ・家庭児童相談等全般に関して、継続相談を含め1,494件の相談を受け対応しました。(新規の虐待件数は26件) ・子どもを暴力から守るための教育プログラムCAP研修を3小学校で開催しました。(参加者:児童653人、教職員72人、保護者122人) ・児童虐待防止啓発チラシ等を配布し、啓発活動を実施しました。(塩尻・広丘駅前1,000人)
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関とネットワークを構築し連携することにより、要保護児童を早期に発見し、児童と家庭への適切な支援が図られました。 ・多様な市民を対象に、それぞれに必要な相談、啓発、学習事業を効果的に展開できました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを取り巻く環境が、複雑、多様化し、児童虐待等の深刻なケースを含め、相談対応件数は年々増加しているため、相談支援体制の充実が課題であり、ケースの進行管理や組織での対応に努めています。 ・「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」市民運動については形骸化しているとの声があり、事務局体制や事業の見直し、母子保健との連携を検討します。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	児童虐待防止啓発事業への年間参加者数	人	1,000	1000
活動	子どもの人権学習会への年間参加者数	人	900	847
成果	虐待による子どもの死亡者数	人	0	0

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	家庭児童相談員などの相談体制の拡充		
	類似・関連の事業	有			
		無			
	19市の実施状況	全て実施	一部実施	本市のみ実施	
	施策の目的を実現できるか	実現できる		できない	
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務	②受益者が不特定多数	③必要な生活環境水準の確保	
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる	⑤社会的・経済的弱者を対象	⑥民間だけでは負担できない	
		⑦民間だけでは供給不足	⑧市の個性、魅力を発信できる	⑨第三者にも受益がある	
効率性 (コスト)	実施主体 ※該当すべてを選択	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない
	経済性・手法 ※該当すべてを選択	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。		②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。	
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。		④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。	
	削減効果	人間的な効果	《入力》 人工/日	経費的な効果	《入力》 千円

総合評価	A	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員改善提案	早期の問題解決のためにも、母子保健との連携強化を図る。
取り組む改善内容	早期の問題解決のためにも、母子保健との連携強化を図る。
教育委員の評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・益々、養育環境の厳しい状況が察しられる。また、乳幼児期の家庭での愛着形成がどうしても必要であることから、保健師部門との連携を強化し、継続した支援が必要である。 ・相談内容の多様化と相談件数の増加にきちんと対応できるスタッフの確保が必要ではないか。 ・「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」市民運動は、その大切さを市民に啓発するという意味では、大変良いことだと思うが、形骸化していることも事実であり、子どもに配られる「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」運動のマークシートのようなカードを提出した後に、子ども達に何か評価のようなものがあると良いと思われる。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	343 元気っ子応援事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	02 子どもたちの生きる力をはぐくむ				
項	02 子どもたちの成長と発達を支援し学習機会を提供します				
事業期間	平成18年度～	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-030206-010000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業の対象		
子どもたちが、それぞれの個性や特性を大切にしながら健やかに成長し、持っている力を十分発揮できるように、一人ひとりに応じた育ちを途切れなく18歳まで応援します。			18歳未満の児童及びその保護者		
			事業の手段		
			気がかりな児童生徒や保護者などに対して、関係機関と連携して継続的な相談支援を行う。		
問題点・課題等			事業の意図		
小学校から中学校への継続的なフォローアップ体制の確立と中学卒業後の対応が課題です。			元気っ子相談等を継続的かつ早期の支援を行い、知・徳・体のバランスの取れた次世代の市民を育成するための事業である。		
部名	40 こども教育部		課名	30 家庭支援室	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額		
事業費	内 訳	千円	2,940	2,720	2,662	3,657		
		千円	報酬	14	10	13	27	
			賃金	555	433	398	623	
			報償費	1,207	993	1,853	2,338	
			旅費	120	59	174	372	
			需用費	79	247	168	210	
			委託料	903	929	0	0	
			使用料及び賃借料	48	49	56	87	
			その他	14	0	0	0	
		人件費等	千円	7,644	7,563	7,500	7,500	
財源	正規職員	人千円	0.9	6,444	0.9	6,363	0.9	6,300
	嘱託職員	人千円	0.5	1,200	0.5	1,200	0.5	1,200
	臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0
	総事業費	千円	10,584	10,283	10,162	11,157		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	10,584	10,283	10,162	11,157		
	合計	千円	10,584	10,283	10,162	11,157		

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・元気っ子相談(511人)、保育園フォローアップ訪問(公立保育園16園、私立保育園2園)、幼稚園フォローアップ訪問(4園)小学校フォローアップ訪問(9校)を実施しました。 ・元気っ子応援事業パンフレットを対象児の保護者及び関係者に配布しました。(約700人) ・医療相談(11人)、ことばの相談(48人)、心理相談(59人)を実施しました。 ・個別支援保育(16保育園)を実施しました。 ・子育て応援教室(受講者25人)を4回開催するとともに、元気っ子講演会(43人)を開催しました。 ・元気っ子応援チーム研修会を開催しました。(保育士研修2回、相談員・事務局研修1回)
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園のフォローアップに小学校の先生が、小学校のフォローアップに保育士が参加するなど、保育園と小学校との連携の強化と、継続的な支援が円滑に行われました。 ・関係機関との連携、ネットワークの強化により、多角的な視点で支援をすることができました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・元気っ子相談を受けた子どもたちの中学校卒業後の支援体制と、対象の子どもが年々増えていく中でチーム(支援)体制の見直しが課題です。 ・早期支援を図るため、母子保健との連携が課題です。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	元気っ子応援事業個別支援保育の実施園数	園	16	16
活動	元気っ子応援事業個別支援保育の実施園数	園	16	16
成果	フォローアップにおける保育園と小学校の連携	園・校	16園・9校	16園・9校

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	中学校へのフォローアップ体制の確立		
	類似・関連の事業	有			
		無			
	19市の実施状況	全て実施	一部実施	本市のみ実施	
	施策の目的を実現できるか	実現できる		できない	
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務	②受益者が不特定多数	③必要な生活環境水準の確保	
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる	⑤社会的・経済的弱者を対象	⑥民間だけでは負担できない	
		⑦民間だけでは供給不足	⑧市の個性、魅力を発信できる	⑨第三者にも受益がある	
効率性 (コスト)	実施主体 ※該当すべてを選択	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない
	経済性・手法 ※該当すべてを選択	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。		②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。	
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。		④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。	
	削減効果	人間的な効果	《入力》 人工/日	経費的な効果	《入力》 千円

総合評価	A	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	母子保健(4カ月、1歳6カ月、3歳児検診)との連携による早期支援を図る。
取り組む 改善内容	トータル支援のためのシステムを確立する。
教育委員の 評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で行われる元気っ子相談時の話題を就学後も話題にし、保護者が発達の手応えを実感できる機会を重ねて欲しい。元気っ子相談時の相談担当者のメンタル・スキル面でのアップを期待する。 ・元気っ子応援事業は、学校からも評価が高い。しかし、対象者数の増加と支援の質の維持に見合うだけのスタッフが確保されているか。今後の課題である。 ・中学校卒業後の支援体制の確立を民生委員の活用も含めて早急に進める必要がある。

平成26年度事務事業評価(平成25年度実績)

総 括 表

主要事業数

課等名	主要事業数
社会教育課	3
スポーツ振興課	2
男女共同参画・人権課	2
平出博物館	2
計	9

生涯学習部

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	345 全国短歌フォーラム事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	04 かおり高い文化をはぐくむ				
項	01 市民の芸術文化活動を支援します				
事業期間	昭和62年度～	新規/継続	継続		
会計区分	未設定	予算科目	1-100501-030000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業の対象		
塩尻市の文化である短歌を普及し継承するため、全国に「短歌の里塩尻」を発信し、全国の愛好者から短歌を募り、最優秀・優秀賞等の選考、選評を行う全国短歌フォーラムを開催する。			市民及び全国の短歌愛好者		
			事業の手段		
			短歌を通じ、塩尻市の文化、産業を全国に発信する短歌フォーラムを開催する。		
問題点・課題等			事業の意図		
短歌愛好者の高齢化、短歌愛好者の拡大			全国から、愛好者が集うことにより、塩尻市の文化である短歌の普及と継承する事業である。		
部名	45 生涯学習部		課名	10 社会教育課	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額	
事業費	千円		15,923	20,340	17,282	19,495	
	内 訳	千円	臨時職員賃金	681	823	1,040	1,074
			企画演出委託料	7,119	7,119	7,119	1,610
			全国短歌フォーラム事業負担金	8,123	8,666	9,123	7,323
				0	234	0	126
				0	3,498	0	162
				0	0	0	9,200
				0	0	0	0
				0	0	0	0
	人件費等	千円	4,511	4,454	4,410	4,410	
正規職員	人千円	0.63	4,511	0.63	4,454	0.63	4,410
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0	0
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	20,434	24,794	21,692	23,905		
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	231	
	一般財源	千円	20,434	24,794	21,692	23,674	
	合計	千円	20,434	24,794	21,692	23,905	

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全国短歌フォーラムin塩尻を開催「一般の部」2日目は、「塩尻みてある記」を開催しました。 「一般の部」:募集期間5月10日～7月1日、大会:9月28・29日 「学生の部」:募集期間6月28日～9月13日、大会:11月30日 ・学生の部では短歌学習の取り組みを市内小学校3校が発表しました。 ・子どもたちの豊かな心をはぐくむために地域の人材を活用し、市内外15校67学級で短歌づくり教室を実施しました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の文化である短歌を通じて、豊かな心をはぐくむ教育文化のまちづくりに貢献しました。 ・大会をNHKEテレで1時間番組として全国放映することにより、「短歌のまち塩尻」を全国に発信しました。 ・会場内での特産品販売や大会翌日「塩尻みてある記」を開催し、来場者に地域ブランドをPRしました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕が新たに盛り込まれたことで、今後学校教育での短歌学習の発展が見込まれる中、長年取り組んできた先進地としての積極的な情報発信をする必要があります。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	-	-	-	-
活動	一般の部発送数	通	5,300	5,210
	学生の部発送数	通	4,000	5,385
成果	一般の部投稿数	首	3,000	2,672
	学生の部投稿数	首	13,000	15,044

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	短歌愛好者の底辺拡大と投稿数増加のための方策を検討する。		
	類似・関連の事業	有	兵庫県小野市:「第25回短歌フォーラム」・「小野市詩歌文芸賞」		
		無	宮崎県日向市:「短歌甲子園」		
	19市の実施状況	全て実施	一部実施	本市のみ実施	
	施策の目的を実現できるか	実現できる			できない
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務	②受益者が不特定多数	③必要な生活環境水準の確保	
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる	⑤社会的・経済的弱者を対象	⑥民間だけでは負担できない	
		⑦民間だけでは供給不足	⑧市の個性、魅力を発信できる	⑨第三者にも受益がある	
効率性 (コスト)	実施主体	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない
	経済性・手法	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。		②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。	
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。		④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。	
	削減効果	人力的な効果	《入力》 人工/日	経費的な効果	《入力》 千円

総合評価	C	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	長年培われてきた短歌文化は重要であることから、この文化を広める。
取り組む 改善内容	学習指導要領に、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項が新たに盛り込まれたことから、小中学校での短歌(国語)学習へ応用をする。当然教える側の研修も必要である。
教育委員の 評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・全国短歌フォーラムは、日本独自の文化を若者に広げる役割を果たし、小中学校及び高等学校で、短歌文化が浸透してきている。指導者研修も始まったので、学校教育に積極的に取り入れ、更なる活動の高まりを期待したい。フォーラムへ市民の参加を促す工夫が欲しい。また、投稿料金の工夫を。 ・短歌のまち塩尻を大々的にPRしていく必要があると思う。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	509 短歌館運営事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	04 かおり高い文化をはぐくむ				
項	01 市民の芸術文化活動を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100509-020000		
事業区分	ハード	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業の対象		
塩尻市の文化である短歌に関する資料収集、整理保管歌人の遺品等の收藏や短歌大学、企画展の開催を行い、短歌を通じた芸術文化を発信する。			市民及び短歌愛好者		
			事業の手段		
			遺品、著書等の展示と資料収集、整理保管 短歌大学、企画展の開催		
問題点・課題等			事業の意図		
施設の管理運営と、入館者の拡大			「短歌の里塩尻」を全国に発信するとともに短歌を通じた芸術文化を推進する。		
部名	45 生涯学習部		課名	10 社会教育課	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額	
事業費	内 訳	千円	5,198	6,675	6,420	6,320	
		千円	臨時職員賃金	1,033	1,033	1,078	1,094
			講師謝礼	957	962	1,082	978
			印刷製本費	213	681	183	186
			広告料	196	196	196	200
			樹木管理委託料	246	210	278	278
				535	462	600	600
				2,018	585	3,003	2,984
				0	2,546	0	0
		人件費等	千円	5,634	6,398	840	840
正規職員	人千円	0.15	1,074	0.26	1,838	0.12	840
嘱託職員	人千円	1.9	4,560	1.9	4,560	0	0
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	10,832	13,073	7,260	7,160		

財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	585
	一般財源	千円	10,832	13,073	7,260	6,575
	合計	千円	10,832	13,073	7,260	7,160

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌を通じた芸術文化の発信のため、歌人の遺墨、遺品や関係資料の公開展示、資料の収集保存、調査等のほか、全国短歌フォーラムの協力支援を行いました。 ・塩尻短歌大学5回、企画展3回、地元協会との共催による百人一首大会、短歌の里コンサートなどを開催し、短歌の普及に努めました。 ・短歌のまち塩尻のシンボル施設として適正な管理運営に努めました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・塩尻市の短歌に触れる機会を提供することで、短歌を通じて、豊かな心を育む教育文化のまちづくりに貢献できました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者減少に対する課題とさらに魅力ある短歌館を目指した企画展等の開催と展示替え、新たな所蔵品の購入検討が課題です。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	—	—	—	
活動	短歌大学の開催数 企画展等の開催数	回 種	5 3	5 3
成果	入館者数 各種大会・企画展動員数	人 延人	6000 4500	4568 3211

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	市民ニーズに応じた事業計画の立案		
		無			
	類似・関連の事業	有	博物館類似施設		
		無			
	19市の実施状況	全て実施	一部実施	本市のみ実施	
	施策の目的を実現できるか	実現できる			できない
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務	②受益者が不特定多数	③必要な生活環境水準の確保	
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる	⑤社会的・経済的弱者を対象	⑥民間だけでは負担できない	
		⑦民間だけでは供給不足	⑧市の個性、魅力を発信できる	⑨第三者にも受益がある	
効率性 (コスト)	実施主体	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない
	※該当すべてを選択	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。		②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。	
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。		④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。	
	削減効果	人力的な効果	《入力》 人工/日	経費的な効果	《入力》 千円

総合評価	B	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	入館者減少対策としての展示内容の工夫
取り組む 改善内容	入館者減少対策としての展示内容の工夫
教育委員の 評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なイベントの仕掛けにより、短歌館の認知度が高まったと思う。未来に向けた短歌文化伝承のための小・中・高生に視点を当てた事業など、更なる工夫を望みます。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	195 重伝建整備事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	04 かおり高い文化をはぐくむ				
項	02 地域の歴史・文化をまもり活かします				
事業期間	平成17年度～平成30年度	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100512-020000		
事業区分	ハード	主管課順位	0	部順位	0
地区	楢川				
法令等条項	塩尻市伝統的建造物群保存地区保存条例				
全体事業概要			事業の対象		
国選定重要伝統的建造物群保存地区塩尻市奈良井及び木曾平沢地区における修理・修景事業の実施により、両地区の文化財的景観の向上を図る。			伝建地区住民、地区訪問者		
			事業の手段		
			経年劣化する伝建地区内の建造物・工作物を、修理・修景という二つの手法により文化財として保存及び景観整備を行う。		
問題点・課題等			事業の意図		
人口減少などにより、空き家が増えることが懸念される。			文化財としての集落として、保存をするための事業である。		
部名	45 生涯学習部		課名	10 社会教育課	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額		
事業費	千円		24,614	31,236	21,865	25,637		
	内 訳	千円		0	設計監理委託料 5,460	0	0	
				0	保存対策調査委託料 1,500	0	0	
				200	伝建保存推進事業補助金 200	伝建保存推進事業補助金 200	伝建保存推進事業補助金 200	伝建保存推進事業補助金 200
				24,100	国宝重要文化財等保存整備事業補助金 23,807	国宝重要文化財等保存整備事業補助金 21,414	国宝重要文化財等保存整備事業補助金 25,113	
				314	その他 269	その他 251	その他 324	
				0	0	0	0	
				0	0	0	0	
				0	0	0	0	
	人件費等	千円	5,370	5,303	4,200	4,200		
正規職員	人千円	0.75	5,370	0.75	5,303	0.6	4,200	
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費	千円	29,984	36,539	26,065	29,837			
財源	国庫支出金	千円	15,769	19,124	14,023	16,323		
	県支出金	千円	354	356	647	753		
	地方債	千円	0	1,900	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	13,861	15,159	11,395	12,761		
	合計	千円	29,984	36,539	26,065	29,837		

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良井・木曾平沢の両伝建地区において、修理・修景事業5件を実施しました。 奈良井地区では修理1件、木曾平沢地区では修理3件、修景1件の文化財保存による景観整備を行いました。 ・26年度、27年度に向けての修理・修景事業の希望調査を行い、文化庁に次年度事業として申請することができました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・重伝建としての文化財保存にとどまらず、市民をあげての地域づくりの核ともなり、更に観光振興にも寄与することができました。 ・国庫補助による事業ですが個人負担も相応にあり、市民主体の保存活動として、費用対効果は高いものとなっています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施年数が少ない木曾平沢における集客が途上で、今後観光面でのPRの研究が必要です。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	重要伝統的建造物群保存地区の延べ修理・修景実施数	件	42	36
活動	重要伝統的建造物群保存地区の延べ修理・修景実施数(年度内)	件	7	5
成果	重要伝統的建造物群保存地区の延べ修理・修景の進捗率(施策目標に対する達成率)	%	100	86

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	年度における事業の配分を検討する。						
	類似・関連の事業	有							
		無							
	19市の実施状況	全て実施	一部実施	本市のみ実施					
	施策の目的を実現できるか	実現できる		できない					
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務		②受益者が不特定多数		③必要な生活環境水準の確保			
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる		⑤社会的・経済的弱者を対象		⑥民間だけでは負担できない			
		⑦民間だけでは供給不足		⑧市の個性、魅力を発信できる		⑨第三者にも受益がある			
効率性 (コスト)	実施主体	①他でも市民サービスができる		②他を活用するとコストが下がる		③他が持つノウハウを活用できる		④他を活用しても行政責任は問われない	
	※該当すべてを選択	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。		②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。					
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。		④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。					
	削減効果	人力的な効果	《入力》	人工/日	経費的な効果	《入力》	千円		

総合評価	A	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当						
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当						
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要						
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討						
		E	目的が達成されたことによる事業の完了						

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	保存だけに止まらず、活用・PRの仕方を検討する。
取り組む 改善内容	保存だけに止まらず、活用・PRの仕方を検討する。
教育委員の 評価・意見	平沢地区の街並みについても景観が整ってきた。観光化を進めるためにも地域住民と協議し、核となるセー ルポイントを示せるようにしたい。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	48 市民スポーツ振興事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
	章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる			
	節	03 生涯にわたる生きがいをはぐくむ			
項	02 スポーツに親しめる環境と機会をつくりま				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100601-040000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業の対象		
「市民みな1スポーツ」を目指し、誰もが楽しめるスポーツイベントやスポーツ教室等を開催し、生涯スポーツの普及による市民の健康・体力づくりの推進、競技スポーツの振興を図る。			全市民		
			事業の手段		
			スポーツに親しむ市民を増加させるため、塩尻ぶどうの郷ロードレース、ヘルシー・フィジカル教室、ファミリースポーツフェスティバル等の事業を行う。		
問題点・課題等			事業の意図		
運動習慣の無い市民にスポーツに対する関心を持ってもらうため、事業の充実とスポーツ団体の自立を更に図る必要がある。			「市民みな1スポーツ」の普及・推進と市民の健康増進を目標とする事業である。		
部名	45 生涯学習部		課名	20 スポーツ振興課	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額
事業費	千円		23,117	22,459	22,407	22,706
	内 訳	千円	健康体力づくり推進事業講師謝礼	632	631	661
健康スポーツ都市宣言事業委託料			1,000	900	840	573
健康体力づくり推進事業委託料			2,768	2,764	2,438	2,612
その他			18,717	18,164	18,468	18,695
			0	0	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0
人件費等	千円		17,448	16,501	17,740	16,340
正規職員	人千円	2.4	17,184	16,261	17,500	16,100
嘱託職員	人千円	0.11	264	240	240	240
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0
総事業費	千円		40,565	38,960	40,147	39,046
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	1,432	1,487	0	420
	一般財源	千円	39,133	37,473	40,147	38,626
	合計	千円		40,565	38,960	40,147

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回塩尻ぶどうの郷ロードレース(9/29)を2・3・5・10kmの4コースの競技で実施しました。エントリー2,071人、スタッフ約450人 ・インターバル速歩を中心としたヘルシー・フィジカル教室(5月～12月)を開催しました。昼コース30人 夜コース18人 合計48人 ・子どもから高齢者まで楽しめる第25回ファミリースポレクフェスティバル(9/15)を開催しました。参加者約800人(雨天による縮小開催) ・その他、ストレッチヨガ教室・外傷予防講習会等のスポーツ関連教室を開催しました。 ・体育関連団体へのスポーツ振興事業の委託及び運営等の補助を実施しました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・塩尻ぶどうの郷ロードレースでは、ランニングの普及とスポーツに対する関心を高めることができました。 ・ヘルシー・フィジカル教室では、ウォーキング習慣の定着と健康づくりに対する意識の向上が図られました。 ・ファミリースポレクフェスティバルでは、市民にスポーツをするきっかけを提供できました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントや教室の開催時期や実施内容を検討し、より多くの市民にスポーツを親しむきっかけを提供できるようにするための改善が必要です。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	週1回以上スポーツ活動に親しむ成人の割合	%	50	35.8
活動	第5回塩尻ぶどうの郷ロードレースエントリー人数	人	2,000	2,071
成果	週1回以上スポーツ活動に親しむ成人の割合	%	45	35.8

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	実施時期及び内容の改善		
	類似・関連の事業	有	県民スポーツフェスティバル、スポーツ天国、他市町村のマラソン大会等		
	19市の実施状況	無	全て実施	一部実施	本市のみ実施
	施策の目的を実現できるか		実現できる		できない
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務	②受益者が不特定多数	③必要な生活環境水準の確保	
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる	⑤社会的・経済的弱者を対象	⑥民間だけでは負担できない	
		⑦民間だけでは供給不足	⑧市の個性、魅力を発信できる	⑨第3者にも受益がある	
効率性 (コスト)	実施主体	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない
	※該当すべてを選択	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。		②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。	
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。		④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。	
	削減効果	人員的な効果	《入力》 人工/日	経費的な効果	《入力》 千円
総合評価	A	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当		
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当		
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要		
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討		
		E	目的が達成されたことによる事業の完了		

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	イベントが市民のスポーツ振興にどう結びついているかの検証
取り組む 改善内容	イベント開催だけで終わらないように、アフターフォローをする。
教育委員の 評価・意見	・ロードレースは、子どもからお年寄りまでが楽しめるコース設定となっている。ランニング愛好者の誰もが参加できることをこのロードレースのコンセプトとして価値付けたい。もし、時間が許せば、レースが始まる前にストレッチ教室、ウォーキング教室等もち、ぶどうの郷ロードレースの特色を持たせたい。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	205 体育施設整備事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	03 生涯にわたる生きがいをはぐくむ				
項	02 スポーツに親しめる環境と機会をつくります				
事業期間	平成17年度～平成30年度	新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100602-030000		
事業区分	ハード	主管課順位	1	部順位	7
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業の対象		
「市民みな1スポーツ」を推進できる環境を目指し、体育施設の充実を図るための整備を実施する。			体育施設の利用者		
			事業の手段		
			体育施設の老朽化が進んでいるため、計画的な改修・整備を図る。		
問題点・課題等			事業の意図		
多額の予算が必要になるので、計画的に進めていくことが重要となる。			市民に安全で快適なスポーツ環境を提供するための事業である。		
部名	45 生涯学習部		課名	20 スポーツ振興課	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額		
事業費	千円		5,938	16,897	6,735	9,598		
	内訳	千円	新体育館関係費用	2,400	営繕修繕料	2,558	営繕修繕料	458
			長者原公園関係費用	1,438	新体育館調査委託料	2,625	新体育館調査委託料	500
			中央スポーツ公園整備工事	2,100	中央スポーツ公園整備工事	1,554	備品購入費	494
				0	学校夜間照明整備工事	3,675	学校夜間照明整備工事	8,640
				0	学校夜間照明整備工事	7,665		0
				0	総合グラウンド整備工事	1,271		0
				0	その他工事	1,224		0
				0		0		0
		0		0		0		
人件費等	千円	1,790	2,121	2,100	2,100			
正規職員	人千円	0.25	1,790	0.3	2,121	0.3		
嘱託職員	人千円	0	0	0	2,100	0		
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0		
総事業費	千円	7,728	19,018	8,835	11,698			
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	6,800	0	7,700		
	その他	千円	0	0	2,859	0		
	一般財源	千円	7,728	12,218	5,976	3,998		
	合計	千円	7,728	19,018	8,835	11,698		

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・塩尻市立体育館のバスケットゴール2組中、1組を更新しました。 (昭和61年に設置した移動式バスケット台) ・小坂田公園市民プールの改修を実施しました。 (プールサイドやシャワー室の床面の部分補修、駐車場からプールまでの階段の部分補修) ・新体育館の方向性を研究するための資料を専門業者への委託により作成しました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットゴールの更新により、大会運営や練習への支障が大幅に軽減され、利用者の利便性が大きく向上しました。 ・小坂田公園市民プールの老朽化部分の補修により、シーズン中の安全な運営につながりました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の改修には多額の費用を要するため、計画的な取り組みが必要となります。また、受益者負担はランニングコストの一部のみとなっており、利用者のコスト負担のあり方の検討が必要となります。

【Do】4. 指標

指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	—	—	—
活動	バスケットゴール更新数	組	1
成果	バスケットゴール延べ更新数	組	1

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有			
		無			
	類似・関連の事業	有			
		無			
	19市の実施状況	全て実施	一部実施	本市のみ実施	
	施策の目的を実現できるか	実現できる		できない	
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務	②受益者が不特定多数	③必要な生活環境水準の確保	
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる	⑤社会的・経済的弱者を対象	⑥民間だけでは負担できない	
		⑦民間だけでは供給不足	⑧市の個性、魅力を発信できる	⑨第三者にも受益がある	
効率性 (コスト)	実施主体	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない
	※該当すべてを選択	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。		②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。	
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。		④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。	
	削減効果	人力的な効果	《入力》 人工/日	経費的な効果	《入力》 千円

総合評価	B	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	体育施設の利用状況等を勘案する中で、年次的に統廃合をする。
取り組む 改善内容	関係者との合意形成を図りながら、市内体育施設の統廃合
教育委員の 評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・改修については、先を見通し、計画的に進めてほしい。 ・新体育館建設に関しては、できるだけ早く方向性を出すことが望ましい。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	562 社会人権教育推進事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	01 人を大切にする心をはぐくむ				
項	01 人権意識を高め人権を守ります				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100104-010000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、塩尻市差別をなくし人権を擁護する条例 他				
全体事業概要			事業の対象		
差別のない明るい社会をめざし人権教育を推進するため、各地区人権教育推進会議、地区・分館単位の人権学習会、また、豊かな心を育む市民の集いを開催する。			市民		
			事業の手段		
			人権意識の高揚や差別のない社会をめざすという課題があるので、地域での人権学習会、企業人権教育推進研修会、豊かな心を育む市民の集いの開催及び人権同		
問題点・課題等			事業の意図		
人権学習会の周知活動の強化、学社連携しての人権教育の推進。			人権意識の高揚が図られ、差別のない社会の実現をするための事業である。		
部名	45 生涯学習部		課名	30 男女共同参画・人権課	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額
事業費	千円		849	2,038	3,049	3,951
	内 訳	千円	人権教育講師謝礼	102	109	1,602
営繕修繕料			71	1,265	136	641
集会所管理委託料			266	266	266	246
人権教育ビデオ購入費			46	66	313	274
分館人権学習会・地区推進会議補助金			200	200	200	300
その他			164	132	532	200
			0	0	0	682
			0	0	0	0
人件費等	千円		13,140	9,191	7,000	7,000
正規職員	人千円	1.5	10,740	9,191	7,000	7,000
嘱託職員	人千円	1	2,400	0	0	0
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0
総事業費	千円		13,989	11,229	10,049	10,951
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	13,989	11,229	10,049	10,951
	合計	千円		13,989	11,229	10,049

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	・地区公民館及び分館での人権学習会、企業人権教育推進研修会、人権同和教育集会所人権学習会を開催し、市民、事業者への人権意識の向上を図りました。
成果	・学習会等への参加者数は、1,938人で、地域、事業所における人権教育を推進することができました。
課題	・人権学習会の周知活動の強化、学社連携しての人権教育を推進する必要があります。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	人権学習会等への年間参加者数	人	2,000	1,938
	「生まれや育ちにより差別されない地域社会が形成されている」と思う人の割合	%	75	60.9
活動	人権学習会等を開催した回数	回	45	45
成果	人権学習会等の参加者数	人	2,000	1,938

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	人権学習会、研修会の十分なPR		
	類似・関連の事業	有	県 リーダー研修会等		
	19市の実施状況		全て実施	一部実施	本市のみ実施
	施策の目的を実現できるか		実現できる		できない
妥当性	必要性(市の関与) ※該当すべてを選択	①法律上の義務	②受益者が不特定多数	③必要な生活環境水準の確保	
		④市民の不安を解消できる	⑤社会的・経済的弱者を対象	⑥民間だけでは負担できない	
		⑦民間だけでは供給不足	⑧市の個性、魅力を発信できる	⑨第3者にも受益がある	
効率性 (コスト)	実施主体 ※該当すべてを選択	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。	④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。		
	削減効果	人力的な効果	《入力》 人工/日	経費的な効果	《入力》 千円

総合評価	B	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	
取り組む 改善内容	
教育委員の 評価・意見	・地区公民館等で、「人権学習会」が進んでいる。その時々課題を気軽に学習できることがうれしい。しかし、こうした会や学習会に参加する方は、人権に対する知識や関心がある方や役員の方が多いと思われる。関心の低い方々の参加を促すための工夫をしたい。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	267 やさしく女と男推進事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
	章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる			
	節	01 人を大切にする心をはぐくむ			
項	02 男女共同参画社会をつくりまします				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100508-030000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項	男女共同参画社会基本法、塩尻市男女共同参画基本条例				
全体事業概要			事業の対象		
男女共同参画社会を実現するため、地域におけるリーダーを育成する推進交流会、また、事業所を対象とした企業セミナーや市民を対象とした講演会、21世紀セミナー等を開催する。また、女性相談員による相談を実施する。			市民、民間企業		
			事業の手段		
			男女共同参画社会を実現させるという課題があるので、講演会、21世紀セミナー、推進交流会、企業セミナー等を開催する。また、女性相談員による相談を		
問題点・課題等			事業の意図		
地域における男女共同参画の推進を強化する必要がある。			男女共同参画社会を実現することに理解を深め、意識啓発を図るための事業である。また、女性相談は、安全、安心に生活できるようにするための事業である		
部名	45 生涯学習部		課名	30 男女共同参画・人権課	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額			
事業費	千円		451	521	2,230	3,863			
	内訳	千円	手話通訳・保育士賃金	3	30	1,381	2,364		
講師謝礼			133	178	198	370			
費用弁償			120	89	45	93			
その他			195	224	202	209			
			0	0	53	184			
			0	0	62	275			
			0	0	289	368			
			0	0	0	0			
人件費等	千円		5,020	4,242	6,800	6,800			
正規職員	人千円	0.5	3,580	0.6	4,242	0.8	5,600	0.8	5,600
嘱託職員	人千円	0.6	1,440	0	0	0.5	1,200	0.5	1,200
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円		5,471	4,763	9,030	10,663			
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	665			
	県支出金	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
	一般財源	千円	5,471	4,763	9,030	9,998			
	合計	千円	5,471	4,763	9,030	10,663			

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進交流会を開催しました。 ・21世紀セミナーを開催しました。 男女共同参画推進シンポジウムを開催 男女共同参画推進地区井戸端会議を2地区で開催 ・地区男女共同参画推進会議を開催しました。 ・男女共同参画推進企業セミナーを開催しました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・推進交流会、地区推進会議、21世紀セミナー、企業セミナー等への参加者数は、1,328人で、市民において、男女共同参画社会の重要性について、理解が深まるとともに、意識啓発が図られました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における、男女共同参画の推進を強化する必要があります。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	審議会・委員会への女性委員登用率	%	40	36
	男女共同参画社会研修会への年間参加者数	人	800	1328
活動	推進交流会、21世紀セミナー等を開催した回数	回	7	13
成果	推進交流会、21世紀セミナー等の参加者数	人	800	1328

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	アンケート結果の分析を行い、啓発する年代を絞る。		
	類似・関連の事業	有	県 男女共同参画推進県民大会他		
	19市の実施状況	無	有	無	有
	施策の目的を実現できるか	有	無	有	無
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務		②受益者が不特定多数	③必要な生活環境水準の確保
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる		⑤社会的・経済的弱者を対象	⑥民間だけでは負担できない
		⑦民間だけでは供給不足		⑧市の個性、魅力を発信できる	⑨第三者にも受益がある
効率性 (コスト)	実施主体	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない
	経済性・手法	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。		②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。	
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。		④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。	
	削減効果	人力的な効果	《入力》 人工/日	経費的な効果	《入力》 千円

総合評価	B	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	
取り組む 改善内容	
教育委員の 評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・講座等の企画がやや固定化し、新鮮味が弱まってきている。新たな仕掛けとともに、市民への事業趣旨の周知と主体的な参加意識の向上策を検討したい。 ・女性が働きやすい社会を作るためには、特に男性管理職の意識を変えていくことが必要と考える。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	621 平出博物館運営事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	04 かおり高い文化をはぐくむ				
項	02 地域の歴史・文化をまもり活かします				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100505-030000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業の対象		
地域の歴史や文化に親しみをもってもらえるよう、平出遺跡をはじめ市内における考古・歴史・民俗等の資料を展示公開するとともに、講座や講演会、企画展を開催する。			全市民		
			事業の手段		
			地域の歴史や文化を学ぶため、講座、講演会、企画展を開催するほか、冊子を刊行する。		
問題点・課題等			事業の意図		
施設利用の促進			生涯学習の場と機会の提供と学術及び文化の振興を図るための事業である。		
部名	45 生涯学習部		課名	40 平出博物館	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額			
事業費	千円		17,148	21,028	12,118	21,679			
	内訳	千円	講師謝礼	326	468	309	320		
			印刷製本費	1,229	1,211	1,004	1,056		
			博物館周辺整備工事	322	4,935	172	8,400		
			その他	15,271	14,414	10,633	11,903		
				0	0	0	0		
				0	0	0	0		
				0	0	0	0		
				0	0	0	0		
	人件費等	千円	17,920	17,247	8,180	6,300			
正規職員	人千円	2	14,320	2.1	14,847	1.1	7,700	0.9	6,300
嘱託職員	人千円	1.5	3,600	1	2,400	0.2	480	0	0
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	35,068	38,275	20,298	27,979				
財源	国庫支出金	千円	0	420	0	0			
	県支出金	千円	1,737	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	1,193	1,387	715	715			
	一般財源	千円	32,138	36,468	19,583	27,264			
	合計	千円	35,068	38,275	20,298	27,979			

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平出歴史大学(2講座)を開催しました。 ・土曜サロン(5講座)を開催しました。 ・企画展(3回)を開催しました。 ・「ひらいでミュージアムコンサート」を開催しました。 ・「博物館紀要」「博物館ノート」や企画展図録を刊行しました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・平出歴史大学や土曜サロンなどの講演会を開催し、地域の歴史学習の機会を提供することができました。 ・企画展では、展示内容を検討したことにより、幅広い年齢層の来館者を迎えることができました。また他市との連携企画展を初めて開催し、今後の地域博物館のあり方を模索することができました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの市民に地域の歴史や文化遺産に興味を持ってもらえるように、事業内容を検討することが必要です。 ・市内外の機関や施設と連携を図ることで、相乗効果をもたらすようにしていく必要があります。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	博物館施設の入場者数	人	69,000	57,303
活動	講座・講演会の開催回数	回	7	7
成果	講座・講演会の参加者数	人	350	357
	平出博物館の入館者数	人	5,200	5,543

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	市民ニーズに即した事業内容の検討		
	類似・関連の事業	有			
		無			
	19市の実施状況	全て実施	一部実施	本市のみ実施	
	施策の目的を実現できるか	実現できる		できない	
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務	②受益者が不特定多数	③必要な生活環境水準の確保	
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる	⑤社会的・経済的弱者を対象	⑥民間だけでは負担できない	
		⑦民間だけでは供給不足	⑧市の個性、魅力を発信できる	⑨第三者にも受益がある	
効率性 (コスト)	実施主体	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない
	※該当すべてを選択	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。		②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。	
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。		④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。	
	削減効果	人力的な効果	《入力》 人工/日	経費的な効果	《入力》 千円

総合評価	B	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	
取り組む 改善内容	
教育委員の 評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・平出博物館、平出歴史公園が更に市民の宝となるべく、様々な企画をしている。この努力は、徐々にその効果を表してくれるものと思われる。 ・市内の学校で収集してある考古・歴史・民俗に関する資料等を評価し、管理と展示のあり方を研究してほしい。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	6799 平出遺跡公園事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる				
節	04 かおり高い文化をはぐくむ				
項	02 地域の歴史・文化をまもり活かします				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100505-040000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業の対象		
国史跡である平出遺跡を活用し、市民に歴史や文化に触れる機会を提供する。			全市民		
			事業の手段		
			平出遺跡公園を活用するため、体験学習や遺跡まつりを行う。		
問題点・課題等			事業の意図		
遺跡公園の利用促進、公園の適切な維持管理			平出遺跡公園を活用し、生涯学習の場と機会を提供するための事業である。		
部名	45 生涯学習部		課名	40 平出博物館	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額			
事業費	内 訳	千円	0	0	4,907	5,938			
		講師謝礼	0	0	151	162			
			印刷製本費	0	0	150	150		
				0	0	4,606	5,626		
			その他	0	0	0	0		
				0	0	0	0		
		0		0	0	0			
		人件費等		千円	0	0	7,560	6,600	
		正規職員	人千円	0	0	0.6	4,200	0.6	4,200
		嘱託職員	人千円	0	0	1.4	3,360	1	2,400
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費		千円	0	0	12,467	12,538			
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	336	1,816			
	一般財源	千円	0	0	12,131	10,722			
	合計	千円	0	0	12,467	12,538			

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひらいで遺跡まつり」を開催しました。 ・「アドベンチャーinひらいで」を実施しました。 ・体験教室(3講座)を実施しました。 ・古代体験学習を実施しました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「平出博物館友の会」「平出遺跡協会」「どんぐりの会」など多くの市民の協力により、平出遺跡公園の利活用の面においても有効的な事業を実施することができました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡まつりや体験学習の内容をより充実させ、来場者の増加を図る必要があります。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	—	—	—	—
活動	ひらいで遺跡まつり	人	2,000	2,000
	アドベンチャーinひらいで	人	150	148
成果	平出遺跡公園の来場者数	人	20,000	13,536
	体験学習参加者数	人	6,000	5,962

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	魅力ある事業の実施		
		無			
	類似・関連の事業	有			
		無			
	19市の実施状況	全て実施	一部実施	本市のみ実施	
	施策の目的を実現できるか	実現できる			できない
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務	②受益者が不特定多数	③必要な生活環境水準の確保	
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる	⑤社会的・経済的弱者を対象	⑥民間だけでは負担できない	
		⑦民間だけでは供給不足	⑧市の個性、魅力を発信できる	⑨第三者にも受益がある	
効率性 (コスト)	実施主体	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない
	※該当すべてを選択	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。		②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。	
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。		④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。	
	削減効果	人力的な効果	《入力》 人工/日	経費的な効果	《入力》 千円

総合評価	B	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	
取り組む 改善内容	
教育委員の 評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の整備には、地域の方々のご尽力が大きいと思う。博物館も含め、公園内には、各種の建物、遊具がある。これらの保守点検には、配意をお願いしたい。 ・ひらいで遺跡まつりの遊び(体験)のコーナーが毎回同じでマンネリ化してきている。親子で博物館や遺跡を巡るスタンプラリーなど新しい企画もほしい。

平成26年度事務事業評価(平成25年度実績)

総括表

主要事業数

課等名	主要事業数
交流支援課	1
図書館	1
子育て支援センター	1
計	3

市民交流センター

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	5526 市民交流センター交流企画事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
	章	06 自立と自治の市民社会をともに作る			
	節	01 市民の主体的な活動をひろげる			
項	04 市民交流センターを活用した交流と人づくりの場を提供します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-020115-970000		
事業区分	ソフト	主管課順位	0	部順位	0
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業の対象		
市民交流センターの基本方針「機能融合を目指した事業運営」を実現するため、また、多くの利用者の来館を目指して、諸機能が有機的に連携した幅広い事業展開を行う。			市民及び市外の人、事業主、各種団体		
			事業の手段		
			様々な知恵の交流を実現するという目的があるので、異世代間交流のための読み聞かせ養成講座、交流会の開催や各種講座、講演会を実施する。		
問題点・課題等			事業の意図		
市民ニーズの把握と新たな活用及び利用者の増加に向けた事業展開			世代を超えた交流の実現、新しい人や多くの人が絶えず行きかう場となるための事業である。		
部名	35 市民交流センター		課名	15 交流支援課	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額			
事業費	千円		144,609	35,953	31,327	35,811			
内訳	千円	IT講座運営委託料	5,933	5,565	4,830	5,000			
		講師謝礼	2,182	2,473	1,800	1,522			
		費用弁償	878	1,125	2,765	2,300			
		普通旅費	353	181	708	1,146			
		消耗品	3,985	4,000	3,588	3,872			
			131,278	8,085	8,085	8,640			
			0	4,627	5,377	5,750			
			0	9,897	4,174	7,581			
人件費等	千円		25,578	25,295	26,850	18,800			
正規職員	人千円	3.15	22,554	3.15	22,271	3.15	22,050	2	14,000
嘱託職員	人千円	1.26	3,024	1.26	3,024	2	4,800	2	4,800
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円		170,187	61,248	58,177	54,611			
財源	国庫支出金	千円	0	1,000	1,500	400			
	県支出金	千円	0	520	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	341	0	1,274			
	一般財源	千円	170,187	59,387	56,677	52,937			
	合計	千円	170,187	61,248	58,177	54,611			

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンIT講座を開催し、暮らしや仕事に役立つ内容で57回実施しました。 ・読書による異世代間交流のため、読み聞かせ交流会を10回、養成講座を2回開催しました。 ・各種講座や講演会を実施し、諸機能が融合するイベントが開催できました。 ・木育フェスティバルやハロウィン等、他団体との連携事業を開催しました。 ・サイエンス教室や理科読を開催し、「科学館」としての企画事業を開催しました。 ・美術関連の学生交流ワークショップを15回開催しました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・IT講座を含め各種講座等を43事業開催し、幅広い事業展開を実施したことで多くの来館者がありました。 ・講座や講演会を通じて、様々な知恵の交流が生まれ、イベントの参加者は30,600人でした。 ・サイエンス教室等の開催により科学への興味と関心を高める機会となりました。 ・美術関連講座の実施により、学生同士の交流機会が生まれました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者のニーズを把握すると共に開催内容を精査していく必要があります。 ・開催事業の共有化を図り、各種団体や組織と連携したイベントを実施するために、平成26年度はえんぱーくまつりを玄蕃まつりと同日開催で実施します。

【Do】4. 指標

指標		単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	えんぱーく利用者人数	人	400,000	669,387
	IT講座年間受講者人数	人	2,000	1,526
活動	IT講座を含む講座、講演会等の開催	事業	40	43
成果	年間イベント参加人数	人	20,000	30,600

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	→参加者のニーズを事業に反映させ、有効な広報を検討する		
	類似・関連の事業	有	→公民館事業、民間事業		
	19市の実施状況		全て実施	一部実施	本市のみ実施
	施策の目的を実現できるか		実現できる		できない
妥当性	必要性(市の関与) ※該当すべてを選択	①法律上の義務	②受益者が不特定多数	③必要な生活環境水準の確保	
		④市民の不安を解消できる	⑤社会的・経済的弱者を対象	⑥民間だけでは負担できない	
		⑦民間だけでは供給不足	⑧市の個性、魅力を発信できる	⑨第三者にも受益がある	
効率性 (コスト)	実施主体 ※該当すべてを選択	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない
		経済性・手法 ※該当すべてを選択	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。	②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。	
	③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。		④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。		
削減効果	人間的な効果	《入力》	人工/日	経費的な効果	《入力》 千円

総合評価	A	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	館が意図する目標達成するための方向性
取り組む 改善内容	現行施策がビジネス・子育て・老人等の交流に役立っているのか検証する。
教育委員の 評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞等を通じ、市民ニーズを把握した企画の数々に接し、熱意が伝わってくる。市レベルのイベントは、なるべく重ならないように要望する。 ・えんぱーく利用者の増加が中心市街地の活性化につながるような市全体としての施策の工夫が必要。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 実計対象

事務事業名	9 子育て支援センター事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
章	02 安心して暮らせる福祉のまちをともに作る				
節	02 安心して生み育てられる環境をつくる				
項	01 出産・子育ての不安と負担を減らします				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-030202-100000		
事業区分	ソフト	主管課順位	1	部順位	0
地区	全市				
法令等条項	児童福祉法				
全体事業概要			事業の対象		
乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を管理運営するとともに、子育て相談や情報の提供、子育てに関する講座の開催、子育てサポーターの養成等を通して、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育て不安の軽減と子どもの健やかな育ちを促進する。			乳幼児を子育て中の保護者及びそれを支える地域住民。		
			事業の手段		
問題点・課題等			子育て不安や負担の軽減のために、プレイルームでの遊びの提供や子育て相談等の実施、地域の子育て支援機能充実のための支援を行う。		
			事業の意図		
北部子育て支援センターの老朽化に伴い、施設の補修等修繕費の増加。			安心して生み育てられる環境づくりのための事業である。		
部名	35 市民交流センター		課名	30 子育て支援センター	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額			
事業費	千円		6,645	6,151	7,377	8,179			
	内 訳	千円	臨時賃金	2,627	2,073	2,162	3,926		
			講師謝礼	428	361	346	417		
			消耗品費	737	731	602	652		
			印刷製本費	325	226	353	387		
			保育費	523	471	483	400		
				397	386	1,785	489		
				1,608	1,903	1,646	1,908		
				0	0	0	0		
	人件費等	千円	53,880	57,337	49,328	51,080			
正規職員	人千円	5.4	38,664	5.9	41,713	5	35,000	5	35,000
嘱託職員	人千円	6.34	15,216	6.51	15,624	5.97	14,328	6.7	16,080
臨時職員	人千円	0	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	千円	60,525	63,488	56,705	59,259				
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0			
	県支出金	千円	105	0	0	8,179			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
	一般財源	千円	60,420	63,488	56,705	51,080			
	合計	千円	60,525	63,488	56,705	59,259			

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイルームの環境管理や子育て相談を実施しました。 プレイルーム利用者 26,318人 子育て相談 606件 ・交流会及び子育て支援講座を開催しました。 子育て支援講演会 106人 「母乳やミルク」「アレルギー除去食」について話そう 3回 94人 ・父親向け子育て情報誌「育男手帳」の発行や、イベントの開催により父親の育児参加を支援しました。 ・サポーター&ボランティア養成講座修了者を子育てサポーターとして認定し、活動支援を行いました。 ・他機関との連携により、出前支援を行いました。 すくすく子ども相談への訪問 41回 命の学習講座(中学校) 2回 109人
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・遊び環境の定期的な変更や、利用者のニーズに対応した講座内容の見直しを行い、多くの親子が参加しました。 ・地域に出向いて多くのお母さん達と直接話し、子育て支援センターの事業について周知しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・父親の育児参加を推進するため、さらなる情報提供が必要です。そのため、広報誌の利用や「パパレター」の活用等、幅広い情報発信を行います。 ・北部子育て支援センターの老朽化に伴い、安心安全に利用してもらうための修繕が必要です。 (H26年度 絨毯の張り替えを実施)

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	子育てサポーター認定者数	人	150	189
活動	講座の開催	回	200	211
成果	プレイルーム利用者数	人	25,000	26,318

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	職員研修等の実施により、相談業務の質の向上を図る		
	類似・関連の事業	有			
		無			
	19市の実施状況	全て実施	一部実施	本市のみ実施	
	施策の目的を実現できるか	実現できる		できない	
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務	②受益者が不特定多数	③必要な生活環境水準の確保	
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる	⑤社会的・経済的弱者を対象	⑥民間だけでは負担できない	
		⑦民間だけでは供給不足	⑧市の個性、魅力を発信できる	⑨第三者にも受益がある	
効率性 (コスト)	実施主体	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない
	※該当すべてを選択	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。		②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。	
		③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。		④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。	
	削減効果	人間的な効果	《入力》 人工/日	経費的な効果	《入力》 千円

総合評価	B	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	父親の参加を促す取り組みとして、男女共同参画課との連携を図る。
取り組む 改善内容	連携のできる場所から、事業推進をする。
教育委員の 評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターは、よく活用されている。このまま円滑に事業を進めていただきたい。 ・子どもの養育は、父母とともに祖父母の役割が大きい。これを考慮した企画内容を取り入れていくことが必要である。

平成26年度 事業評価シート (平成25年度実績)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 実計対象

事務事業名	5660 本の寺子屋推進事業				
総合計画	第四次塩尻市総合計画				
	章	01 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる			
	節	03 生涯にわたる生きがいをはぐくむ			
項	01 生涯学習を支援します				
事業期間		新規/継続	継続		
会計区分	一般	予算科目	1-100504-060000		
事業区分	ソフト	主管課順位	2	部順位	3
地区	全市				
法令等条項					
全体事業概要			事業の対象		
塩尻市立図書館の今後の指針であり、塩尻市立図書館基本計画骨格となっている「これからの図書館像」(平成18年文部科学省)の実現に向けて、図書館が市民生活発展の根拠施設となるよう「本の寺子屋」を中心とした生涯読書を推進する。			市民及び市外の人、民間企業、団体		
			事業の手段		
			市民の読書環境の整備、生涯読書の推進という課題があるので、本に関わる人や企業と市民をつなぎ、地域の読書環境を整備し、交流を生み出す機会を提供する		
問題点・課題等			事業の意図		
広範な市民ニーズの把握と講師の確保			本に関わる人や企業をつなぎ、市民の読書環境の充実と読書の推進を図り、文字活字の振興による交流を生み出すための事業である。		
部名	35 市民交流センター		課名	40 図書館	

2. 年度別事業費

		単位	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	平成26年度予算額
事業費	内 訳	千円	0	0	2,000	3,034
		千円	0	0	836	1,228
			0	0	418	600
			0	0	354	420
			0	0	129	331
			0	0	116	200
			0	0	147	255
			0	0	0	0
			0	0	0	0
		千円	0	0	3,500	3,500
正規職員	人千円	0	0	0.5	3,500	
嘱託職員	人千円	0	0	0	0	
臨時職員	人千円	0	0	0	0	
総事業費	千円	0	0	5,500	6,534	
財源	国庫支出金	千円	0	0	0	200
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	5,500	6,334
	合計	千円	0	0	5,500	6,534

【Do】3. 前年度中に実施した事業の取組内容及び成果、課題

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・作家、出版社、書店等と協力して、本の魅力を伝える講演会、講座を開催し、産官の連携を図りました。 講座・講演会等：14回 企画展等：5回 ・地域の読書環境を支える図書館職員や書店員のスキルアップを図る講座を開催しました。 ・ビジネス支援等の新しい図書館の取り組みについて、市民に周知する講演会を開催しました。 ・書籍販売や企画展示等を通じて、地域の書店や出版関係会社等の支援を行い、地域の読書環境の整備に努めました。 ・貴重な装丁本や歴史的写本等の展示を通じて、本の大切さを伝える企画展を実施しました。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・出版社、書店と連携して、「本」の可能性を考え、市民の生涯読書の推進を図りました。 ・本の魅力を伝える取組みを全国発信し、図書館及び事業のブランド化を進めました。 ・職員のスキルアップ、意識改革を進めました。 ・図書館運営についての理解を広めました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・産官との連携を強化し、塩尻市立図書館からの独自性のある文化の発信をさらに推進する必要があります。 ・平成26年度に予算を計上し、継続して事業を推進します。

【Do】4. 指標

	指標	単位	目標値	実績値
施策 (目標値H26)	—	—	—	
活動	本の寺子屋事業の講座・講演会の開催数	回	(12)	14
成果	本の寺子屋事業の講座・講演会の参加者数	人	(1,000)	1,055

【Check】5. 内部評価

有効性	事業の成果・価値向上の余地	有	→より市民ニーズを事業に反映させ、さらなる内容の充実を図る		
	類似・関連の事業	有			
		無			
	19市の実施状況	全て実施	一部実施	本市のみ実施	
	施策の目的を実現できるか	実現できる			できない
妥当性	必要性(市の関与)	①法律上の義務	②受益者が不特定多数	③必要な生活環境水準の確保	
	※該当すべてを選択	④市民の不安を解消できる	⑤社会的・経済的弱者を対象	⑥民間だけでは負担できない	
		⑦民間だけでは供給不足	⑧市の個性、魅力を発信できる	⑨第三者にも受益がある	
効率性 (コスト)	実施主体	①他でも市民サービスができる	②他を活用するとコストが下がる	③他が持つノウハウを活用できる	④他を活用しても行政責任は問われない
	※該当すべてを選択	①単位当たり(投入金額/事業実績)が悪化している。		②人員の見直し(正規→臨時)により、コストを下げられる。	
	経済性・手法	③事務の電算化、委託などの事務改善により、コストを下げられる。		④契約方法の変更などにより、コストを下げられる。	
	削減効果	人力的な効果	《入力》 人工/日	経費的な効果	《入力》 千円

総合評価	B	A	内容を拡充し、計画どおりに事業を進めることが適当
		B	現状のまま継続して、計画どおりに事業を進めることが適当
		C	事業の進め方・内容・実施主体の見直しが必要
		D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討
		E	目的が達成されたことによる事業の完了

【Action】6. 改善・改革計画・教育委員の評価等

専門委員 改善提案	本市独自の生涯読書を「本の寺子屋推進事業」により、さらに推進する。
取り組む 改善内容	産学官の連携強化を一層図る。
教育委員の 評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・著名人を招いてのこの企画は、文化価値の向上に大きく寄与していると思う。さらに市民の関心を高め、広げていくための分かりやすい広報に心がけたい。学校図書館職員との人事委交流は大変に効果大きい。更なる拡大を。 ・図書館は、先進的な取り組みをはじめ市の文化の中心的存在となっている。



**平成26年度（平成25年度実績）
教育委員会自己点検・評価報告書**

平成26年11月

塩尻市教育委員会
(塩尻市こども教育部教育総務課)

長野県塩尻市大門七番町4番3号
電話 (0263) 52-0280 (代)
HP アドレス <http://www.city.shiojiri.lg.jp/>
